

Ⅰ 第2次かすがい市民文化振興プランの概要

(Ⅰ) 基本理念と基本目標

I 基本理念

この第2次文化振興プランでは、「文化・スポーツ都市」宣言の趣旨を受け、また文化振興基本条例で定めた基本理念を実現するため、本市が目指すべき10年後の姿として計画に掲げる理念を次のとおりとします。

世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井

II 基本目標

計画に掲げる理念を達成するために、次の3つの基本目標を定めます。

基本目標1 参加と体験による文化が生まれる環境づくり

基本目標2 特色ある「春日井文化」の継承・創造

基本目標3 文化を通じた連携のまちづくり

(2) 施策の体系

理念	基本目標		施策	
世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井	基本目標1	参加と体験による文化が 生まれる環境づくり	施策①	幅広い鑑賞機会・文化活動機会の提供
			施策②	次世代の文化活動を担う人材の育成
			施策③	知りたい人に届く文化情報発信
			施策④	市民による文化活動支援の推進
			施策⑤	文化が育つ拠点施設の充実
	基本目標2	特色ある「春日井文化」 の継承・創造	施策⑥	特色ある文化の推進
			施策⑦	文化財・伝統文化の保存・継承・活用
	基本目標3	文化を通じた連携のまち づくり	施策⑧	分野を超えた連携の推進
			施策⑨	文化による地域の活性化

2 第2次かすがい市民文化振興プラン

令和4年度進捗状況評価票

令和5年8月18日開催の令和5年度第1回春日井市文化振興審議会において
春日井市（文化スポーツ部文化・生涯学習課）より令和4年度の進捗状況を報告し、
文化振興審議会の点検・評価を受けたものです。

< 凡例 >

各事業の達成度（自己評価）については、次の5段階で評価を行った。

- A 実施し、計画以上の成果が得られた。
- B 実施し、計画程度の成果が得られた。
- C 実施したが、計画どおりの成果は得られなかった。
- D 検討したが、実施に至らなかった。
- E 実施・検討に至らなかった。

(1) 施策ごとの評価

基本目標1 参加と体験による文化が生まれる環境づくり

施策① 幅広い鑑賞機会・文化活動機会の提供

施策ごとの事業の成果

(1) 多彩な文化芸術のより身近な鑑賞機会の提供

ア 地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
わ〜く書っぷ(書家派遣事業) 【文化・生涯学習課】	書家を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より、あ〜とふるマイタウンより移行して実施。	実施プログラム3、実施回数9回(前年度比6回増)	実施プログラム3、実施回数10回(前年度比1回増)	地域団体や、児童・未就学児に普段はできない書を体験できる機会を提供することができた。	B 実施団体の満足度も高く、良い機会を提供できたと考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) ＜内訳＞ 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト17組38名、実施回数30回(前年度比7回増) ＜内訳＞ 音楽(①ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、②サクソフォン・ヴァイオリン・打楽器・ピアノ3回、③ユーフォニアム・打楽器・ピアノ3回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ2回、⑤サクソフォン・打楽器1回、⑥フルート・オーボエ・ピアノ3回、⑦ピアノ・ヴァイオリン2回、⑧三味線2回、⑨弦楽3重奏1回、⑩ヴァイオリン・チェロ1回、⑪ギター4回、⑫サクソフォン・打楽器・ピアノ1回)、⑬日本舞踊4回、⑭落語2回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができ、参加者数も前年度の2,578人から4,358人へと大きく増やすことができた。	A 地域団体でのアート・ドアでは、一部実施団体に所属しない地域住民にも参加を促したり、複数の地域団体が連携して実施する例もあり、地域の交流の輪を広げることができた。
ふれあいセンター、ハーモニー春日井等でのコンサート 【文化・生涯学習課】	地元で活躍する音楽家を招き、市民が気軽に音楽を楽しむことができるコンサートを開催	・西部ふれあいセンター(クリスマスコンサート)1回(増減なし) ・ハーモニー春日井(ウインターコンサート)1回 前年度比1回増)	・西部ふれあいセンター(クリスマスコンサート)1回(増減なし) ・ハーモニー春日井(ウインターコンサート)1回(増減なし)	地域住民を中心とした市民に身近で音楽を鑑賞できる機会を提供することができた。	B

イ 近隣美術館等との連携の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがい熟年大学 【文化・生涯学習課】	高齢者が健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、学習の場を提供	熟年大学5コースのうち、芸術文化コースで県内や東濃地域の美術館の学芸員に講師を依頼 県内美術館の展覧会の内容に合わせた講義を実施 ①名古屋造形大学特任教授（愛知県美術館「コートールド美術館展」）②徳川美術館副館長	熟年大学5コースのうち、歴史コースと芸術文化コースで県内の美術館の学芸員に講師を依頼 県内美術館の展示内容に合わせた講義を実施 ①徳川美術館副館長「江戸時代の浮世絵文化」、②徳川美術館学芸部長「源氏物語絵巻」、③徳川美術館学芸員「大名文化」	近隣美術館と連携し、受講者に美術について学ぶ機会を提供することができた。	B

ウ 文化芸術強調月間（仮称）の創設

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
該当なし 【文化・生涯学習課】		文化芸術強調月間の創設を検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、現時点で強調月間の創設は適切ではないと判断した。	文化芸術強調月間の創設を検討したが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せなかったため、強調月間の創設は行わなかった。	—	D アフターコロナにおいて、文化芸術強調月間創設の意義があるのか、検討していく。

エ 幅広い分野の文化芸術を鑑賞・体験する機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】	市民が制作した美術作品(日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真)の発表と鑑賞の場を提供	第70回記念展8月21日(土)～8月29日(日) 出品数647点(前年度比28点増)、鑑賞者7,224人(前年度比480人増) 会場:変更なし 出品資格:変更なし 申込方法:直接持参、郵送に加え、Webでの受付を開始	第71回展8月20日(土)～8月28日(日) 出品数629点(前年度比18点減)、鑑賞者8,173人(前年度比949人増) 会場:変更なし 出品資格:変更なし 申込方法:直接持参、郵送、Web	審査員解説の会場を文化フォーラム春日井1階交流アトリウムに変更することで、図書館利用者などより幅広い層の参加者を呼び込むことができた。 前年度に引き続き、新しいビジュアルで広報物を作成することで、女性や新規の出品者を増やすことができた。	B
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	2021 春日井市民第九演奏会 12月5日(日) 出演者439人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団68人、合唱団86人、合唱指導者2人)(一昨年度比147人減)、入場者278人(一昨年度比561人減)	2022 春日井市民第九演奏会 12月4日(日) 出演者670人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団66人、合唱団108人、合唱指導者2人)(前年度比20人増)、入場者489人(前年度比211人増)	新型コロナウイルス感染症を考慮しながらの合唱団の活動となったが、音楽の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
短詩型文学祭 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】	短歌、俳句、川柳、狂俳(一般の部のみ)、詩の作品を公募し、入選作品を掲載した作品集を作成。作品展では特別賞受賞作品等を展示	第41回短詩型文学祭作品展 1月22日(土)~2月6日(日) 出品数:一般の部(高校生以上)826点、小・中学生の部25,108点、計25,934点(前年度比2,281点増)、鑑賞者4,920人 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウム 出品資格:変更なし	第42回短詩型文学祭作品展 1月28日(土)~2月12日(日) 出品数:一般の部(高校生以上)875点、小・中学生の部22,140点、計23,015点(前年度比2,919点減)、鑑賞者6,636人(前年度比1,716人増) 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウム 出品資格:変更なし	一般の部の出品は微増したが、小中学校の部の出品数は減少した。 前年度に引き続き、有料で販売していた作品集の仕様を改め、無料配布にしたことで、約2,000部の作品集を市民に届けることができた。 幅広い世代に、文芸作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B 作品集の無料配布やPR方法の工夫などにより、引き続き認知度の向上を図っていく。
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)】	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	第73回展10月31日(日)~11月7日(日) 出品数:一般部319点、学生部(高校生以下)5,585点、計5,904点(前年度比167点減)、鑑賞者:5,422人(前年度比486人減)、VR展1,183アクセス(前年度比684アクセス減) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	第74回展10月30日(日)~11月6日(日) 出品数:一般部293点、学生部(高校生以下)5,195点、計5,488点(前年度比416点減)、鑑賞者:5,192人(前年度比230人減)、VR展1,485アクセス(前年度比302アクセス増) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。 一昨年度から実施している文化フォーラム春日井・交流アトリウムでの学生条幅の部の展示も大変好評であった。	B 出品数が減少傾向にあるため、新規出品者を呼び込む方策を引き続き検討し、実施していく必要があると考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:シネマ歌舞伎 143人、朗読劇「この子たちの夏」211人、反田恭平プロデュースジャパン・ナショナル・オーケストラ 715人、“のだめカンタービレ”の音楽会ピアノ版 426人、瀧川鯉八・玉川太福二人会 106人、柳下美恵のピアノdeシネマ85人 美術系:本山ゆかり展 1,060人、やまなみ工房展 2,396人、重田佑介展「しかくいけしき」2,266人	舞台系:お勢、断行 1,372人、夏井いつき句会ライブ 707人、松竹歌舞伎舞踊公演 655人、キーウ・クラシック・バレエ 788人、稲川淳二の怪談ナイト 629人、元ちとせコンサート 450人、生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会《室内楽版》644人、西村まさ彦の音楽劇「ピーターとオオカミ」337人、Cutting Edge狂言 真夏の狂言大作戦 325人、春風亭一之輔独演会 474人、若林顕ピアノ・リサイタル 283人、アン・サリー&カルデミンミット 257人、三遊亭兼好独演会 114人、月夜のファウスト 105人 美術系:木村セツ展 8,843人、浅田政志写真展 1,606人、生誕45周年記念ねずみくんのチョッキ展 9,665人	ジャンルの偏りなく、幅広い芸術文化事業を展開し、多くの鑑賞者を得ることができた。また、将来の鑑賞人口開拓策にも積極的に取り組み、世代の網羅も進めることができた。 かすがい市民文化財団制作で、平成18年度から全国展開してきた 生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会では、市民会館で初となる室内楽版を開催した。 美術系事業では木村セツ展とねずみくんのチョッキ展で過去最高の入場者数を記録するなど、市民に貴重な鑑賞機会を提供できた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度に引き続き厳しい状況であったが、特に美術系事業では木村セツ展とねずみくんのチョッキ展で過去最高の入場者数を記録するなど、市民に貴重な鑑賞機会を提供できた。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	特別展「書の美、書の価値」650人(前年度比147人増) 企画展「書のまち春日井」2,997人(前年度比1,585人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増)、「私の好きな言葉展」3596点 館蔵品展 「書の魅力」172人、「文字の造形」2,230人、「花を愛でる」197人 年間観覧者数7,479人(前年比2,520人増) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	特別展「生誕110年記念 比田井南谷～線の芸術～」612人(前年度比38人減) 企画展「松下芝堂」1,301人(前年度比1,696人減) 企画展「おののとうふう～道風が生きた時代～」949人(前年度比149人増) 館蔵品展 「書の魅力」484人、「俳句の書表現」3,235人、「白と黒のコントラスト」538人 年間観覧者数7,517人(前年比38人増)	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。	B
ニュータウンきずな事業 【東部市民センター】	地域住民の再生と誇りの象徴である「どんぐり」をキーワードとした2つの事業と囲碁大会を開催	どんぐりキッズ公民館 8月7日、924人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、どんぐり東部公民館まつりと囲碁大会は中止。	・どんぐり東部公民館まつり 9月10日～11日、2,149人 ・どんぐりキッズ公民館 8月6日、1,197人(前年度比273人増) ・囲碁大会 2月11日、48人 ・若林顕ピアノリサイタル350人	子ども、高齢者など地域住民に体験機会を提供することができた。 ピアノリサイタルでは、幅広い対象に上質な演奏の鑑賞機会を提供することができた。	B

オ 舞台公演、展覧会等に関連した体験事業の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ 吹奏楽クリニック64人、朗読劇「この子たちの夏」共演7人、高橋多佳子ピアノレッスン10人 美術系:本山ゆかり展「10 秒絵クササイズ」27人、ピクセルアニメーションを作ってみよう45人	舞台系:夏井いつき句会ライブ707人 美術系:浅田政志写真展「ワークショップ『私の一枚』」19人	体験を通して、市民の関心をより深める機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館講座 【道風記念館】	書の鑑賞の手助けとなり、書に親しみを持ってもらえるような講座を開催 特別展等にあわせて講演会やギャラリートークを開催	初心者向け講座「書にふれる、はじめての講座」(全4回)16人(前年度比25人減) ※初心者向け講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小。臨書講座は中止。 特別展「書の美、書の価値」講演会1回 企画展「書のまち春日井」講演会1回 館蔵品展 「書の魅力」学芸員による展示品解説 2回、「文字の造形」学芸員による展示品解説 4回、「花を愛でる」学芸員による展示品解説 4回	「手紙を楽しむ」(全4回)49人、「高野切第一種を書く」(全3回×2回)46人、初心者向け講座「書にふれる、はじめての講座」(全6回)16人(増減なし) 特別展「生誕110周年記念 比田井南谷～線の芸術～」講演会1回 館蔵品展 「書の魅力」学芸員による展示品解説 4回、「俳句の書表現」学芸員による展示品解説 4回、「白と黒のコントラスト」学芸員による展示品解説 4回	経験者向けや初心者向けの講座を実施することで、幅広い層を対象に書への関心・理解を深める機会を提供することができた。	B

(2) 子どもたちが文化芸術を体験する機会の提供

ア 子ども向け舞台公演、展覧会等の開催と関連する体験事業の実施

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ 吹奏楽クリニック64人、朗読劇「この子たちの夏」共演7人、高橋多佳子ピアノレッスン10人 美術系:本山ゆかり展「10 秒絵クササイズ」27人、ピクセルアニメーションを作ってみよう45人 ・親子のためのはじめての音楽会(2日×2回) 508人 ・人形劇フェスティバル 157人 パペットカー公演398人	・親子のためのはじめての音楽会(2日×2回) 645人 ・人形劇フェスティバル 270人 作って遊ぼうコーナー71人	親子向けの公演を実施することで芸術文化に対する関心を高める機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な機会を提供することができた。
道風記念館展示 道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	子どもの書の鑑賞の手助けとなる解説をほどこした展示と、書に親しめるワークショップを開催	企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」256人、「はじめてのふで」91人、計347人 <定員超過> 企画展「私の好きな言葉展」3596点	企画展「おののとうふう～道風が生きた時代～」949人(前年度比149人増) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」256人、「はじめてのふで」72人、「道風くん」にチャレンジ」40人、計368人 <定員超過>	毎年切り口を変えて夏休みに開催している企画展にあわせてワークショップを開催。多くの小学生に体験の機会を提供することができた。	B

イ 青少年鑑賞サポートプログラムの充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学生の特券(青少年鑑賞サポートプログラム) 【かすがい市民文化財団】	高校生以下を対象に舞台系事業を500円又は無料で、美術系事業を無料で鑑賞できるプログラムを提供 ※令和2年度より「学生の特券」と名称を変更。	舞台系:シネマ歌舞伎 4人、朗読劇「この子たちの夏」 31人、反田恭平プロデュースジャパン・ナショナル・オーケストラ 31人、“のだめカンタービレ”の音楽会ピアノ版 65人、瀧川鯉八・玉川太福二人会 3人、 美術系:対象事業なし	舞台系:お勢、断行 123人、夏井いつき句会ライブ 34人、キーウ・クラシック・バレエ 227人、生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会《室内楽版》 75人、西村まさ彦の音楽劇「ピーターとオオカミ」 40人、Cutting Edge狂言 真夏の狂言大作戦 12人、春風亭一之輔独演会 13人、若林顕ピアノ・リサイタル 41人、アン・サリー&カルデミンミット 20人、三遊亭兼好独演会 1人、月夜のファウスト 6人、演劇自分史4人 美術系:木村セツ展 677人、浅田政志写真展 198人、生誕45周年記念ねずみくんのチョッキ展 713人	小中高校生が芸術文化に直接触れる機会をサポートすることができた。 様々な分野のメニューを提供することができた。	B 青少年鑑賞サポートプログラム制度の定着により、演劇、古典など幅広い分野に学生を誘導することができた点も評価できると考えている。

ウ 小中学校への芸術家等の派遣

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
わ〜く書っぷ(書家派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	書家を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より、あ〜とふるマイタウンより移行して実施。	実施プログラム3、実施回数9回(前年度比6回増)	実施プログラム3、実施回数10回(前年度比1回増)	市民団体や、児童に普段はできない書を体験できる機会を提供することができた。	B 実施団体の満足度も高く、良い機会を提供できたと考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) ＜内訳＞ 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト17組38名、実施回数30回(前年度比7回増) ＜内訳＞ 音楽(①ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、②サクソフォン・ヴァイオリン・打楽器・ピアノ3回、③ユーフォニアム・打楽器・ピアノ3回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ2回、⑤サクソフォン・打楽器1回、⑥フルート・オーボエ・ピアノ3回、⑦ピアノ・ヴァイオリン2回、⑧三味線2回、⑨弦楽3重奏1回、⑩ヴァイオリン・チェロ1回、⑪ギター4回、⑫サクソフォン・打楽器・ピアノ1回)、⑬日本舞踊4回、⑭落語2回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。 また、学校の授業をアーティストが担う新しい取組を試行し、芸術鑑賞会とは異なる教育的効果を得ることができた。	B

(3) 働く世代、若い世代の文化活動の促進

ア 親子と一緒に鑑賞・体験できる事業の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
伝統文化体験・継承事業 【文化・生涯学習課】	書や日本画、俳句・川柳などの伝統文化を親子で体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月11日(日)、8メニュー、455人 (協力:美術協会)	・9月4・11(日)・19(月・祝)・25日(日)、8メニュー、239人 (協力:美術協会)	書を始めとする伝統的な文化を親子で体験できる、貴重な機会を提供することができた。	B
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	・親子のためのはじめての音楽会(2日×2回) 508人 ・人形劇フェスティバル 157人 ・パペットカー公演398人	・親子のためのはじめての音楽会(2日×2回) 645人 ・人形劇フェスティバル 270人 ・作って遊ぼうコーナー71人	0歳児からの子どもとその保護者を対象とした音楽会や親子向けの人形劇公演を実施することで、幅広い層に芸術文化に対する関心を広める機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な鑑賞機会を提供することができた。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学生の特券(青少年鑑賞 サポートプログラム) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	高校生以下を対象に 舞台系事業を500円 又は無料で、美術系 事業を無料で鑑賞で きるプログラムを提供 ※令和2年度より「学 生の特券」と名称を変 更。	舞台系:シネマ歌舞伎 4人、 朗読劇「この子たちの夏」31 人、反田恭平プロデュースジ ャパン・ナショナル・オーケスト ラ 31人、“のだめカンタービ レ”の音楽会ピアノ版 65人、 瀧川鯉ハ・玉川太福二人会 3 人、 美術系:対象事業なし	舞台系:お勢、断行 123人、 夏井いつき句会ライブ 34人、 キーウ・クラシック・バレエ 227人、生で聴く“のだめカン タービレ”の音楽会《室内楽 版》75人、西村まさ彦の音楽 劇「ピーターとオオカミ」40 人、Cutting Edge狂言 真夏 の狂言大作戦 12人、春風亭 一之輔独演会 13人、若林顕 ピアノ・リサイタル 41人、ア ン・サリー&カルデミンミット 20人、三遊亭兼好独演会 1 人、月夜ファウスト 6人、演 劇自分史4人 美術系:木村セツ展 677人、 浅田政志写真展 198人、生 誕45周年記念ねずみくんの チョッキ展 713人	小中高校生が芸術文化 に直接触れる機会をサポ ートすることができた。 様々な分野のメニューを 提供することができた。	B 青少年鑑賞サポート プログラム制度の定 着により、演劇、古典 など幅広い分野に学 生を誘導することが できた点も評価でき ると考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】	茶華道や和楽器などの伝統文化や工作などを体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月25日(日) オープニングコンサート 86人、11講座×2回172人(協力:文化協会) ・ワークショップ 8月1日(日)～26日(木) 4講座 95人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夕涼みシネマは中止。	・ワークショップ 7月28日(木)～8月25日(木) 13講座 380人(協力:文化協会) ・秋の夕暮れシネマ9月23日(金・祝) 102人	子ども達に、貴重な体験機会を提供することができた。	B
道風記念館展示 道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	子どもの書の鑑賞の手助けとなる解説をほどこした展示と、書に親しめるワークショップを開催	企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」256人、「はじめてのふで」91人、計347人<定員超過> 企画展「私の好きな言葉展」3596点	企画展「おののとうふう～道風が生きた時代～」949人(前年度比149人増) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」256人、「はじめてのふで」72人、「道風くん」にチャレンジ」40人、計368人<定員超過>	毎年切り口を変えて夏休みに開催している企画展にあわせてワークショップを開催。多くの小学生に体験の機会を提供することができた。	B

イ 託児付き鑑賞事業等の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (舞台系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	ファミリー向け公演のうち、対象年齢が設定されている公演などで託児サービス(有料)を実施	実績なし	お勢、断行2人 生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会《室内楽版》3人 春日井まつり前夜祭 元ちとせコンサート5人	新型コロナウイルス感染症の影響下で、安全安心なサービス提供が可能か、ニーズはあるのか等を検討した結果、実施しなかった。	B 1公演あたり約5万円を文化財団が負担する必要があるため、費用対効果を考慮し、サービスを提供している。

ウ 働いている人も参加しやすい時間での鑑賞事業等の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (昼コン・夜コン) 【かすがい市民文化財団】	おしゃべりを交えた気軽に聴けるコンサートを金曜日の夜と土曜日の昼に開催	昼コン 4・7、10～12月、土曜日14:00～ 5回計996人(前年度比503人増) 夜コン 4・6、9～11月、金曜日19:00～ 5回計604人(前年度比228人減) ※5月の夜コンは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、動画配信に変更した。	昼コン 4～6、9～11月、土曜日14:00～ 6回計1,205人(前年度比209人増) 夜コン 4～6、9～12月、金曜日19:00～ 6回計902人(前年度比298人増)	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、コンサートを実施することができ、気軽に音楽を鑑賞できる貴重な機会を提供することができた。	B

エ 文化活動を行う市民が発表する場の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】 《再掲》	市民が制作した美術作品(日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真)の発表と鑑賞の場を提供	第70回記念展8月21日(土)～8月29日(日) 出品数647点(前年度比28点増)、鑑賞者7,224人(前年度比480人増) 会場:変更なし 出品資格:変更なし 申込方法:直接持参、郵送に加え、Webでの受付を開始	第71回展8月20日(土)～8月28日(日) 出品数629点(前年度比18点減)、鑑賞者8,173人(前年度比951人増) 会場:変更なし 出品資格:変更なし 申込方法:直接持参、郵送、Web	審査員解説の会場を文化フォーラム春日井1階交流アトリウムに変更することで、図書館利用者などより幅広い層の参加者を呼び込むことができた。 前年度に引き続き、若い世代をイメージした広報物を作成することで、新規出品者を得ることができた。	B
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】 《再掲》	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	2021 春日井市民第九演奏会 12月5日(日) 出演者439人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団68人、合唱団86人、合唱指導者2人)(一昨年度比147人減)、入場者278人(一昨年度比561人減)	2022 春日井市民第九演奏会 12月4日(日) 出演者670人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団66人、合唱団108人、合唱指導者2人)(前年度比20人増)、入場者489人(前年度比211人増)	新型コロナウイルス感染症を考慮しながらの合唱団の活動となったが、音楽の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
短詩型文学祭 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】 《再掲》	短歌、俳句、川柳、狂俳(一般の部のみ)、詩の作品を公募し、入選作品を掲載した作品集を作成。作品展では特別賞受賞作品等を展示	第41回短詩型文学祭作品展 1月22日(土)~2月6日(日) 出品数:一般の部(高校生以上)826点、小・中学生の部25,108点、計25,934点(前年度比2,281点増)、鑑賞者4,920人 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウム 出品資格:変更なし	第42回短詩型文学祭作品展 1月28日(土)~2月12日(日) 出品数:一般の部(高校生以上)875点、小・中学生の部22,140点、計23,015点(前年度比2,919点減)、鑑賞者6,636人(前年度比1,716人増) 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウム 出品資格:変更なし	一般の部の出品は微増したが、小中学校の部の出品数は減少した。 前年度に引き続き、有料で販売していた作品集の仕様を改め、無料配布にしたことで、約2,000部の作品集を市民に届けることができた。 幅広い世代に、文芸作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B 作品集の無料配布やPR方法の工夫などにより、引き続き認知度の向上を図っていく。
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)】 《再掲》	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	第73回展10月31日(日)~11月7日(日) 出品数:一般部319点、学生部(高校生以下)5,585点、計5,904点(前年度比167点減)、鑑賞者:5,422人(前年度比486人減)、VR展1,183アクセス(前年度比684アクセス減) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	第74回展10月30日(日)~11月6日(日) 出品数:一般部293点、学生部(高校生以下)5,195点、計5,488点(前年度比416点減)、鑑賞者:5,192人(前年度比230人減)、VR展1,485アクセス(前年度比302アクセス増) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。 一昨年度から実施している文化フォーラム春日井・交流アトリウムでの学生条幅の部の展示も大変好評であった。	B 出品数が減少傾向にあるため、新規出品者を呼び込む方策を引き続き検討し、実施していく必要と考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
アトリウム音楽祭 【かすがい市民文化財団】	市内外で活動しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表する音楽発表会	2月26日(土)、3月12日(土)・13日(日)16団体、339人出演(前年度比9人減)、鑑賞者866人(前年度比172人減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月18日(土)・19日(日)は中止。	9月17日(土)・18日(日)16団体、253名出演、鑑賞者1,133人 3月18日(土)・19日(日)16団体、339名出演、鑑賞者1,181人	音楽やダンスなどに取り組む市民に発表の機会を提供することができた。 また、客席数を制限し、検温や消毒を徹底するなど、観客にも安心して楽しめる鑑賞機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、発表と鑑賞の機会を提供することができことは大きな成果と考えている。
道風の書臨書作品展 【道風記念館】	三跡(小野道風、藤原佐理、藤原行成)の書を課題とし、臨書作品を全国から公募 開館以来継続して展覧会を開催	第40回展1月12日(金)~23日(日) 出品数:一般部/玉泉帖237点、本阿弥切243点 高校生の部/智証大師諡号勅書2,441点、秋萩帖154点、合計3,075点(前年比106点減) 鑑賞者386人(前年比202人減) 作品展会場:道風記念館 出品資格・出品料:変更なし 道風の書臨書優秀作品展1月12日(水)~16日(日)作品展会場:文化フォーラム春日井	第41回展1月14日(土)~29日(日) 出品数:一般部/屏風土代247点、小島切224点 高校生の部/屏風土代2,230点、継色紙190点、合計2,891点(前年比184点減) 鑑賞者:339人(前年比47人減) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	小野道風を始めとした三跡の和様の書を学び、鑑賞する機会を提供することで、小野道風の顕彰を行うことができた。 全国各地から応募があり、広く「書のまち春日井」を発信することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
3・ふれあいセンター芸能 発表会 【各公民館・各ふれあいセ ンター】	公民館・ふれあいセン ターで活動する同好 会の成果発表会を開 催	中央公民館 公民館クラブ作 品展 14団体出展、参加者 190人 鷹来公民館 公民館クラブ作 品展 13団体出展、参加者 243人 公民館クラブ発表会 6団体出演 坂下公民館 公民館クラブ作 品展 20団体出展、参加者 398人、公民館クラブ発表会 動画配信 西部ふれあいセンター芸能祭 延べ参加者142人	中央・知多合同発表会 15団 体、延べ参加者 178名 中央公民館 12団体出展、延 べ参加者144人 知多公民館 11団体出展、延 べ参加者128人 鷹来公民館 14団体出演・出 展、延べ参加者113人 坂下公民館 17団体出演・出 展、延べ参加者210人 東部公民館 11団体出演・出 展、延べ参加者141人 西部ふれあいセンター 延べ 参加者263人	地域で活動する様々な団 体に成果発表の機会を 提供するとともに、各団体 の交流を図ることができ た。	B
ハーモニーフェスティバ ル 【青年の家】	ハーモニー春日井で 活動する同好会の成 果発表会を開催	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、中止。	第21回ハーモニーフェスティ バル11月20日(日)10団体 出演	施設で活動する団体に成 果発表の機会を提供する ことができた。	B
レディヤン祭 【男女共同参画課】	登録団体の交流を図 り活動発表を実施す ること、活動の周知 や男女共同参画社会 に向けた意識づくりの 機会とする	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、中止。 代替企画として、レディヤンか すがいのロビーで認定団体の 活動写真や作品等を展示 12月12日(日)~12月25日 (土)	第31回12月10日(土)来場 者520人 ・活動団体によるステージ発 表9団体、活動団体による体 験教室13団体、スタンプラリ ー、招へい事業(サクソフォ ン、ピアノ演奏)、作品展示ほ か	レディヤンかすがいを活 動拠点とする青少年団 体、女性団体等に発表の 機会を提供することがで きた。	B

(4) 高齢者、障がい者等の鑑賞機会の充実

ア 高齢者、障がい者等にも配慮した鑑賞機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:シネマ歌舞伎 143人、朗読劇「この子たちの夏」 211人、反田恭平プロデュースジャパン・ナショナル・オーケストラ 715人、 “のだめカンタービレ”の音楽会ピアノ版 426人、瀧川鯉八・玉川太福二人会 106人、柳下美恵のピアノdeシネマ85人 美術系:本山ゆかり展 1,060人、やまなみ工房展 2,396人、重田佑介展「しかくいけしき」 2,266人 日曜シネマ(全4回)にてボランティア団体の協力を得て聴覚障がい者のためのシーンボイスガイドを実施。	舞台系:お勢、断行 1,372人、夏井いつき句会ライブ 707人、松竹歌舞伎舞踊公演 655人、キーク・クラシック・バレエ 788人、稲川淳二の怪談ナイト 629人、元ちとせコンサート 450人、生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会《室内楽版》 644人、西村まさ彦の音楽劇「ピーターとオオカミ」 337人、Cutting Edge狂言 真夏の狂言大作戦 325人、春風亭一之輔独演会 474人、若林顕ピアノ・リサイタル 283人、アン・サリー&カルデミンミット 257人、三遊亭兼好独演会 114人、月夜のファウスト 105人 美術系:木村セツ展 8,843人、浅田政志写真展 1,606人、生誕45周年記念ねずみくんのチョッキ展 9,665人	各舞台公演で車いす席を設定、映画上映会でシーンボイスガイドを実施するなど高齢者や障がい者等にも配慮した鑑賞機会を提供することができた。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、高齢者や基礎疾患を持った方が安心して鑑賞できるよう、隣の人との間隔を設けたディスタンスシートを設定し、安心して鑑賞できる機会を提供した。	B

			日曜シネマ(全5回)にてボランティア団体の協力を得て聴覚障がい者のためのシーンボイスガイドを実施。 また、第91回日曜シネマでは、聴覚障がい者のために上映前のミニトークと上映前後のアナウンスに手話通訳を付けた。		
--	--	--	---	--	--

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	特別展「書の美、書の価値」650人(前年度比147人増) 企画展「書のまち春日井」2,997人(前年度比1,585人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増)、「私の好きな言葉展」3596点 館蔵品展 「書の魅力」172人、「文字の造形」2,230人、「花を愛でる」197人 年間観覧者数7,479人(前年比2,520人増) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	特別展「生誕110年記念 比田井南谷～線の芸術～」612人(前年度比38人減) 企画展「松下芝堂」1,301人(前年度比1,696人減) 企画展「おののとうふう～道風が生きた時代～」949人(前年度比149人増) 館蔵品展 「書の魅力」484人、「俳句の書表現」3,235人、「白と黒のコントラスト」538人 年間観覧者数7,517人(前年比38人増)	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
福祉の里レインボープラ ザでの事業 【社会福祉協議会】	「クリスマスコンサート」等の開催により鑑 賞の機会を提供し、 「ハッピーコンサート」 等の開催により発表と 鑑賞の機会を提供	鑑賞事業:クリスマスコンサ ート 43人 参加・鑑賞事業:ハッピーコン サート<4回> 264人、ビデオ でみんなのコンサート 鑑賞 者 29人 ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、ハッピーコ ンサート<1回>、演芸フェスタ は中止。	鑑賞事業:クリスマスコンサ ート 69人、演芸フェスタ 40人 参加・鑑賞事業:ハッピーコン サート<6回> 396人、みんな のコンサート 72人、歌声アト リウム 40名	地域で活動する様々な団 体に成果発表の機会を 提供するとともに、各団体 の交流を図ることができ た。	B

イ 福祉施設、病院等での文化事業の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) ＜内訳＞ 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト17組38名、実施回数30回(前年度比7回増) ＜内訳＞ 音楽(①ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、②サクソフォン・ヴァイオリン・打楽器・ピアノ3回、③ユーフォニアム・打楽器・ピアノ3回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ2回、⑤サクソフォン・打楽器1回、⑥フルート・オーボエ・ピアノ3回、⑦ピアノ・ヴァイオリン2回、⑧三味線2回、⑨弦楽3重奏1回、⑩ヴァイオリン・チェロ1回、⑪ギター4回、⑫サクソフォン・打楽器・ピアノ1回)、⑬日本舞踊4回、⑭落語2回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。 また、学校の授業をアーティストが担う新しい取組を試行し、芸術鑑賞会とは異なる教育的効果を得ることができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値				
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
文化芸術の活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%	2021年度に 測定	2021年度に 測定	2021年度に 測定	12.3%	2026年度に 測定

施策ごとの評価

事業の評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	令和4年度は、令和3年度と比較すると新型コロナウイルス感染症の影響は小さくなったが、事業によってはまだ従来通りの開催が難しいなか、感染症対策を取った上で、質の高い魅力的な事業が実施され、市民が、拠点となる文化施設又は身近な施設で芸術を鑑賞できる機会が提供されており、評価できる。 また、小中高校生など若い世代に対し鑑賞を促すような取り組みや、高齢者に対する鑑賞機会の提供も引き続きなされており、いずれも評価できる。 文化活動に取り組んでいる市民にとって、厳しい状況は続いていたが、様々な活動や発表の場が提供されている点は評価できる。今後の活動支援については、引き続き対応策の検討が望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策② 次世代の文化活動を担う人材の育成

施策ごとの事業の成果

(1) 若手芸術家等の活動の支援

ア 若手美術家等の作品を取り上げる展覧会の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	本山ゆかり展 1,060人 春日井市出身の若手現代美術作家の地元初となる個展 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期途中で中止。	若手美術家等の作品を取り上げる展覧会の開催なし	令和4年度の展覧会の開催はなかったが、令和5年度に若手美術家の展覧会を開催すべく準備を進めることができた。	B

イ 若手音楽家等の自主的活動の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (若手音楽家支援事業) 【かすがい市民文化財団】	若手音楽家を3年間にわたり活動支援するプログラム。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次年度に延期。	ワンコインコンサート(入場料500円のコンサート) ・FUNのファンタスティック・クリスマス 12月23日(金) 121人	令和2・3年度は実施できなかったワンコインコンサートを開催し、コロナ禍でプログラムに遅れが生じていた若手音楽家支援事業を促進することができた。	B

ウ 幅広い分野での文化活動を行う市民等への支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施2団体 国内での文化事業への参加0団体、個人0人	・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施 2団体 国内での文化事業への参加0団体、個人9人	文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	B

(2) 芸術家等と市民との交流の促進

ア 若手芸術家によるワークショップ等の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	みんなの美術部 (1) 美術作家/堀口 葵 25人 (2) 陶芸作家/矢島与萌 31人 (3) 和菓子職員/山口栄三 19人 (4) 日本画家/荒木紀江 14人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1メニュー中止。	・みんなの美術部 (1) 日本画家/芝康弘・鈴木佐和子 43人 (2) 日本画家/鈴木淳子 47人 (3) 造形作家/林幸秀 56人 (4) 乾漆彫刻家/上山明子 48人 (5) カーデザイナー/木村徹 17人	令和元年度から始まったみんなの美術部は誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講師を迎え講座を開催。 令和4年度も10代から70代の参加者があり、世代間交流を促進することもできた。	B 前期後期でデッサン講座を開催するなど、参加者が自分自身の成長を感じることができ、成果があったと考えている。
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道などの伝統文化や工作などを体験できるワークショップを開催	若手芸術家によるワークショップ ・県立芸術大学金工指導員/小林大地 21人	・ワークショップ 7月28日(木)~8月25日(木) 13講座 380人 (協力:文化協会) ・秋の夕暮れシネマ9月23日(金・祝) 102人	子ども達に、貴重な体験機会を提供することができた。	B

イ 小中学校への芸術家等の派遣

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
わ〜く書っぷ(書家派遣事業) 【文化・生涯学習課】	書家を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より、あ〜とふるマイタウンより移行して実施。	実施プログラム3、実施回数9回(前年度比6回増)	実施プログラム3、実施回数10回(前年度比1回増)	市民団体や、児童に普段はできない書を体験できる機会を提供することができた。	B 実施団体の満足度も高く、良い機会を提供できたと考えている。
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) ＜内訳＞ 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト17組38名、実施回数30回(前年度比7回増) ＜内訳＞ 音楽(①ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、②サクソフォン・ヴァイオリン・打楽器・ピアノ3回、③ユーフォニアム・打楽器・ピアノ3回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ2回、⑤サクソフォン・打楽器1回、⑥フルート・オーボエ・ピアノ3回、⑦ピアノ・ヴァイオリン2回、⑧三味線2回、⑨弦楽3重奏1回、⑩ヴァイオリン・チェロ1回、⑪ギター4回、⑫サクソフォン・打楽器・ピアノ1回)、⑬日本舞踊4回、⑭落語2回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。 また、学校の授業をアーティストが担う新しい取組を試行し、芸術鑑賞会とは異なる教育的効果を得ることができた。	B

(3) 文化活動団体等の活動の促進

ア 文化活動団体等の活発な活動の促進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施2団体 国内での文化事業への参加0団体、個人0人	・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施 2団体 国内での文化事業への参加0団体、個人9人	文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	B
共催事業 【かすがい市民文化財団】	文化活動団体の活動を支援するため、様々な団体との共催事業を実施	・かすがい人形劇フェスティバル 主催:愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会 ・第28回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル 主催:春日井市高等学校吹奏楽協議会 ・とっておきのクリスマスコンサート 主催:春日井児童合唱団	・かすがい人形劇フェスティバル 主催:愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会 ・第29回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル 主催:春日井市高等学校吹奏楽協議会 ・とっておきのクリスマスコンサート 主催:春日井児童合唱団	文化財団の持つ専門技術や経験を活かし、各団体が実施する事業を共催という形で支え、文化活動団体の活動を支援することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
舞台制作セミナー 【かすがい市民文化財団】	文化財団の持つ専門技術や経験を基に、照明・音響・舞台技術の基礎知識を伝えるセミナーを実施	・舞台制作セミナー 高校吹奏楽版:会場/市民会館、参加者20人、参加校:2校 ・舞台制作セミナー 高校演劇版:会場/春日井高校、参加者6人、参加校:1校	・舞台制作セミナー 高校吹奏楽版:会場/市民会館、参加者16人、参加校:4校 ・舞台制作セミナー 高校演劇版:会場/視聴覚ホール、参加者のべ28人、参加校:1校	演劇部版では、外部講師を招き演技・演出についての指導を行うことで、高校生の文化活動を支援することができた。	B

イ 文化活動団体等による体験講座の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 ・文化協会/入門講座10講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民音楽連盟の講座は中止。	春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 ・文化協会/入門講座8講座 ・市民音楽連盟/初心者講座2講座	初心者向けの講座を実施する文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値				
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
若手音楽家等の学校派遣による特別授業の受講児童・生徒数	653人	700人	800人	569人	405人	1,126人	2,440人	4,823人

< 参考 >	基準値	実績値				
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
高校生以下を対象とするアウトリーチ事業の実施回数	23回	18回	13回	9回	30回	34回

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた B 概ね計画どおりの成果が得られた C 成果が得られた事業が多かった D 成果が得られた事業は少なかった E 成果は得られなかった	令和4年度も一部の事業では新型コロナウイルス感染症の影響が残る状況であったが、若手芸術家の活動機会を増やすような取組みができており評価できる。 成果指標としている「若手音楽家等の学校派遣による特別授業の受講児童・生徒数」は増加した。また、新たに、学校の授業をアーティストが行う取組が試行されるなど、学校現場とより密接に連携することで、子どもたちにとって、良い体験機会が提供できていると認められ、評価できる。 また、文化活動団体等に対する支援について、継続的な支援ができている点は評価できる。 新型コロナウイルス感染症の影響で以前のような活動ができなかった団体や、高齢化によって会員数が減少している団体がある。文化活動団体の活動は、厳しい状況が続くと想定されるため、支援策の検討が望まれる。

施策③ 知りたい人に届く文化情報発信

施策ごとの事業の成果

(1) 幅広く効果的な文化情報発信

ア インターネットで地域の文化情報の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井市ホームページ 【広報広聴課】	市民に必要な情報を迅速に提供するため、市ホームページという媒体を活用して情報を発信	・広報春日井に「まちのイベントニュース」掲載し、広報のデータを春日井市ホームページで公開	広報春日井の「市民の広場」で地域情報を掲載したものを市ホームページで公開	文化振興を目的に活動している団体などの情報を発信することができた。	B
文化財団ホームページ 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施している事業の情報や、管理運営している文化フォーラム春日井及び春日井市民会館の情報を発信	・施設のイベントカレンダーを作成し、市民グループの発表会や作品展などの情報を文化財団ホームページで掲載	・施設のイベントカレンダーを作成し、市民グループの発表会や作品展などの情報を文化財団ホームページで掲載	文化財団の事業だけではなく、市民グループの発表会などの情報を幅広く発信することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
外部団体が運営するインターネットサイトへの情報提供 【道風記念館】	道風記念館の施設情報や展覧会情報等を、外部サイトを通して発信	愛知県生涯学習情報提供システム「学びネットあいち」 愛知県博物館協会HP 日本観光振興協会「観るなび」 Internet Museum DNP Museum information Japan 「art scape」 子供とお出かけ情報サイト「いこーよ」	愛知県生涯学習情報提供システム「学びネットあいち」 愛知県博物館協会HP 日本観光振興協会「観るなび」 Internet Museum DNP Museum information Japan 「art scape」 子供とお出かけ情報サイト「いこーよ」	外部の情報サイトを活用することで、幅広い層に情報発信を行うことができた。	B
生涯学習情報サイト「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	市内で活動する団体や、市内で活躍する講師の情報及び公民館等で開催されるイベントや講座情報を発信	講師登録者298人(前年度比2人増、新規登録者14人、削除者12人) 団体登録数132団体(前年度比8団体減、削除団体8) サイトアクセス数30,104件(前年度比3,897件増)	講師登録者301人(前年度比3人増、新規登録者25人、削除者22人) 団体登録数123団体(前年度比9団体減、新規登録団体0、削除団体9) サイトアクセス数31,107(前年度比1,003件増)	公民館やふれあいセンター等で活動する生涯学習活動団体及び、講師として活動する市民の情報発信を行うことができた。 高齢化等で活動を取りやめる団体もあった。	B

イ 市民の意見や入場者数等の分析に基づく情報発信の改善

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	各事業でアンケートを実施し、そこに記載された興味・関心のあるジャンルを基に公演案内を送付	各事業でアンケートを実施し、そこに記載された興味・関心のあるジャンルを基に公演案内を送付 チケット管理システムに蓄積された過去のチケット購買履歴を基に公演案内を送付	情報を求めている顧客に効率的に情報を届けることができた。	B

ウ 文化財団広報誌「FORUM PRESS」等での文化芸術の魅力の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団広報誌「FORUM PRESS」 【かすがい市民文化財団】	自主文化事業を中心とした芸術文化情報及び施設に関する情報を掲載した広報誌を発行	B5サイズフルカラー 年4回、各7,000部発行 ・自主文化事業に関する情報 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による「公演レポート」「展覧会レポート」を掲載 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・子どもと楽しむ「KIDS☆PRESS」 ・市民活動紹介「みんなの広場」「わたしのアトリエ」	B5サイズフルカラー 年4回、各7,000部発行 ・自主文化事業に関する情報 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による「公演レポート」「展覧会レポート」を掲載 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・子どもと楽しむ「KIDS☆PRESS」 ・聴き書き自分史“もの”語り ・市民活動紹介「みんなの広場」「わたしのアトリエ」	新型コロナウイルス感染症の影響下で、施設や催事での紙媒体の配布が難しかったが、開催予定の自主事業に関する情報だけではなく、記事を読んで興味がわくような情報発信を行うことができた。 読者アンケートでも大変好評であり、施設や文化財団の事業についてだけでなく、春日井市の魅力をPRすることができた。	B
道風記念館情報誌「道風記念館だより」 【道風記念館】	収蔵品の紹介や展示案内、書に関する情報を掲載した便りを発行	B5サイズ4ページモノクロ印刷 年4回3,000部 ・展覧会や講座などの事業に関する情報 ・小野道風を始め、書に関する情報 ・収蔵作品情報	B5サイズ4ページモノクロ印刷 年4回3,000部 ・開催時期に合わせた展覧会情報を掲載。 研究者による書に関する連載記事等、有益な書の情報を掲載。	道風記念館の情報を継続して発信することで、PRにつなげることができた。 発行後1年間HPへの公開により、来館できない人へも情報を届けることができた。	B

エ 文化財団友の会会員等への情報発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
友の会事業 【かすがい市民文化財団】	自主事業のチケット先行発売・割引購入が可能な有料会員制度	友の会会員(有料)527人(新規入会53人、更新474人) Web会員(無料) 6,445人(前年度比684人増) 合計6,972人(前年度比663人増) 定期的に文化財団広報誌「FORUM PRESS」や自主文化事業等のチラシ類を送付	友の会会員(有料)731人(新規入会215人、更新516人、前年度比204人増) Web会員(無料) 7,843人(前年度比1,398人増) 合計8,574人(前年度比1,602人増) 文化財団広報誌「FORUM PRESS」や自主文化事業等のチラシ類を送付 LINEのお友達登録者にはチケット販売情報をメール配信	文化芸術に関心の高い会員に最新の情報を提供することができた。 友の会会員の復調は、「松竹歌舞伎舞踊公演」「春風亭一之輔独演会」等に起因していると考えている。 Web会員はチケット先行予約や座席を指定しての予約も可能なため、比較的若い世代を中心に増やすことができた。	B 有料会員に対しては、丁寧な情報提供を行っていく必要があると考えている。

オ JR各駅や地元商店街等でのポスター掲示、チラシ配布等

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
JR各駅での広報配布 【広報広聴課】	JRの各駅で広報春日井を配布するとともに、JR高蔵寺駅内市民コーナーでポスター掲示、チラシ配架。	広報春日井各号の配布部数 JR勝川駅 20部 JR春日井駅 40部 JR神領駅 140部 JR高蔵寺駅 100部	広報春日井各号の配布部数 JR勝川駅 25部 JR春日井駅 40部 JR神領駅 150部 JR高蔵寺駅 105部	町内会未加入世帯など情報の入手することが困難な人に対し、機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
JR春日井駅自由通路 展示コーナー 【かすがい市民文化財 団】	自由通路にある展示 コーナーで、特製の巨 大ポスターを掲示し、 文化財団の自主事業 等をPR	重田佑介展「しかくいけしき」 等をPRする広報物を掲示	木村セツ展や「お勢、断行」等 をPRする広報物を掲示 文化財団の自主事業以外で も、「短詩型文学祭」の特別賞 受賞作品を巨大ポスターにし て掲示するなどした。	市の玄関口であるJR春 日井駅で文化情報を発 信することができた。 巨大ポスターは2～3枚を 連結させるデザインのも のを作成し、PR効果の向 上を図った。	B

(2) 新しい情報媒体の開拓・活用

ア インターネットを活用した双方向コミュニケーションの促進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市政情報サービス 【広報広聴課】	市民に必要な情報を 迅速に提供するため、 市ホームページ・モバ イルサイト、SNSを活 用して情報を提供	・市公式LINEお友達登録件数 9,865件(前年度比2,640件 増) ・市公式Twitterフォロワー数 3,944(前年度比982増)	・市公式LINEお友達登録件数 15,653件(前年度比5,788 件増)、セグメント配信を開始 ・市公式Twitterフォロワー数 4,141(前年度比197増)	インターネットを活用し、 様々な手法で情報発信す ることができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団情報発信事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施事業や、文化フォーラム春日井・市民会館の情報提供	・文化財団公式LINEお友達登録件数 655件（前年度比231件増） ・文化財団公式Twitterフォロワー数1,252（前年度比100件増） ・公演に出演のアーティスト等との相互交流を実施	・文化財団公式LINEお友達登録件数 1,132件（前年度比477件増） ・文化財団公式Twitterフォロワー数1,429（前年度比177件増） ・公演に出演のアーティスト等との相互交流を実施	インターネットを活用し、様々な手法で情報発信することができた。	B

イ 民間情報誌等を活用した文化イベント情報の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団広告宣伝事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の活動に“認知・理解・支援”を得るため、新聞・テレビ等への露出を図り、文化財団のPRを実施	記事掲載：中日新聞20回、朝日新聞1回、毎日新聞1回、ラジオ1回、ケーブルテレビ3回、雑誌タウン誌15回 広告掲載：なし チラシ折込：なし 国道19号沿いの民間広告媒体を活用1件	記事掲載：中日新聞42回、朝日新聞3回、読売新聞2回、毎日新聞1回、中日新聞関連誌及び販売店誌17回、テレビ7回、ラジオ9回、ケーブルテレビ5回、雑誌タウン誌40回、Webメディア1回 広告掲載：なし チラシ折込：なし	新聞やケーブルテレビ、雑誌タウン誌など様々な媒体を用いて幅広い層にPRをすることができた。 木村セツ展で中日新聞社の協力を得て、広域に情報発信を行った。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	道風記念館の施設及び事業をPRするため、情報を発信	記事掲載：中日新聞8回、朝日新聞10回、読売新聞2回、茶華道新聞6回、テレビ愛知1回、ケーブルテレビ2回、雑誌19回 広告掲載：雑誌3回、読売新聞1回	記事掲載：中日新聞9回、朝日新聞10回、読売新聞1回、毎日新聞1回、美術新聞1回、ケーブルテレビ1回、雑誌19回 広告掲載：雑誌2回、読売新聞1回	道風記念館について、新聞や雑誌等で告知を行い、道風記念館を幅広くPRすることができた。	B

ウ 近隣自治体、民間文化施設等との連携による情報発信の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団情報発信事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施事業や、文化フォーラム春日井・市民会館の情報を提供	文化財団広報誌「FORUM PRESS」を始めとする広報物を県内331施設、県外50施設に配布 美術系事業の広報物は、公共施設だけでなく民間のギャラリーにも配布(相互に依頼) 名古屋市文化振興事業団と連携し、相互に友の会会員への発送物に、双方の事業のチラシを同封 近隣ホールで開催の類似ジャンルの公演にて、自主文化事業の広報物を折り込み(相互に依頼)	文化財団広報誌「FORUM PRESS」を始めとする広報物を県内331施設、県外50施設に配布 美術系事業の広報物は、公共施設だけでなく民間のギャラリーにも配布(相互に依頼) 名古屋市文化振興事業団と連携し、相互に友の会会員への発送物に、双方の事業のチラシを同封 近隣ホールで開催の類似ジャンルの公演にて、自主文化事業の広報物を折り込み(相互に依頼)	近隣の文化施設と連携することで、幅広い情報を、来館者・友の会会員・公演の鑑賞者に提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	道風記念館の施設及び事業について、PRを実施	展覧会チラシ・ポスターを始めとする広報物を 県内231施設、県外646施設に配布	展覧会チラシ・ポスターを始めとする広報物を 県内236施設、県外597施設に配布 かすかひ市民文化財団が市民会館等で開催する公演の際に、展示作品を紹介する広報物を折り込み	他の美術館等文化施設と連携することで、幅広い情報を、来館者等に提供することができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値				
	2016年度	2021年度	2018年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
市が情報発信の充実に力を入れていくべきと考える人の割合	43.0%	35.0%	25.0%	2021年度に測定	2021年度に測定	2021年度に測定	66.2%	2026年度に測定

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	文化財団広報誌のFORUM PRESSは、事業の宣伝に留まらず、地域の人々の活動を取り上げるなど読み手に興味を抱かせるような冊子となっており、評価できる。 世代や文化芸術に関する興味関心があるかなど、受け手に合わせた情報発信が求められている。そのため、インターネットやSNSを活用したPRについては、社会情勢の変化に応じたものとなるよう、また、知りたい人に届けるためにはどのような手法が有効なのか、引き続き検討していく必要がある。
B 概ね計画どおりの成果が得られた	
C 成果が得られた事業が多かった	
D 成果が得られた事業は少なかった	
E 成果は得られなかった	

施策④ 市民による文化活動支援の推進

施策ごとの事業の成果

(1) ボランティア活動の活性化

ア 継続的な文化ボランティア活動の推進、支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:22名 (新規登録者3名、退会者2名、前年比1名増) ボランティアへの活動要請:4回、延べ21人従事 顔合わせ会(総会)実施せず、定例会5回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず 文化ボランティア新規会員募集をPR、3名が加入	文化ボランティア登録者:24名 (新規登録者4名、退会者2名、前年度比2名増) ボランティアへの活動要請:6回、延べ45人従事 顔合わせ会(総会)1回、定例会5回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず 文化ボランティア新規会員募集をPR、4名が加入	市民の文化活動が徐々に戻ってくるなかで、ボランティア活動も少しずつ復調してきた。 高齢を理由とした退会者もあったが、PRにより新たな会員を迎えることができた。	B ボランティア会員は高齢化しているが、新規会員を継続的に迎えることができた。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団サポーター 【かすがい市民文化財団】	来場者をもてなすボランティアとして、文化財団自主事業に参加(フロントスタッフ) 公演を鑑賞し、観客目線での公演レポートを執筆し、公開 (FORUM PRESSレポーター)	・フロントスタッフ35人 (前年比2名減、新規登録者1名、退会者3名) 活動公演数4回、研修等1回 ・FORUM PRESSレポーター10人 (前年比2名減、新規登録者なし、退会者2名) 活動公演数10回、研修等1回 紙面掲載記事4本、ホームページ掲載記事15本	・フロントスタッフ31人 (前年比4名減、新規登録者は募集せず、退会者4名) 活動公演数21回、研修等1回 ・FORUM PRESSレポーター11人 (前年比1名増、新規登録者1名、退会者なし) 活動公演数21回、研修等1回 紙面掲載記事1本、ホームページ掲載記事18本	フロントスタッフ、FORUM PRESSレポーターとも、徐々に活動機会が増え、従来に近い活動を行うことができた。	B

イ 市民が企画、運営する文化事業の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:22名 (新規登録者3名、退会者2名、前年比1名増) ボランティアへの活動要請:4回、延べ21人従事	文化ボランティア登録者:24名 (新規登録者4名、退会者2名、前年度比2名増) ボランティアへの活動要請:6回、延べ45人従事	市民の文化活動が徐々に戻ってくるなかで、ボランティア活動も少しずつ復調してきた。	B

ウ 文化ボランティアによる自主企画イベントの開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:22名 (新規登録者3名、退会者2名、前年比1名増) ボランティアへの活動要請:4回、延べ21人従事 顔合わせ会(総会)実施せず、定例会5回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず	文化ボランティア登録者:24名 (新規登録者4名、退会者2名、前年度比2名増) ボランティアへの活動要請:6回、延べ45人従事 顔合わせ会(総会)1回、定例会5回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、自主企画イベントの開催は次年度に先送りすることとした。	D 文化ボランティア会員で検討した結果、自主企画イベントの開催は見送ることとした。

(2) 市民メセナ基金の活用

ア 市民メセナ基金を活用する事業を通じた情報発信、認知度向上

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:22名 (新規登録者3名、退会者2名、前年比1名増) ボランティアへの活動要請:4回、延べ21人従事	文化ボランティア登録者:24名 (新規登録者4名、退会者2名、前年度比2名増) ボランティアへの活動要請:6回、延べ45人従事	ボランティア活動時に、主催者と来場者に市民メセナについてPRし、基金への寄附を募ることで認知度の向上を図ることができた。 4事業で53,800円の寄附があった。	B ボランティアが活動した4事業の出演者・鑑賞者から寄附があったことは、成果と考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト17組38名、実施回数30回(前年度比7回増)	事業実施時に、参加者に市民メセナについてPRし、基金への寄附を募ることで認知度の向上を図ることができた。 7事業で52,003円の寄附があった。	A 7事業の参加者から寄附があったことは、大きな成果と考えている。

イ 市民メセナ基金の運用方法の検討

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民メセナ基金積立 【文化・生涯学習課】	市民や企業等からの寄附金の受け皿となるとともに、マッチングギフト方式を採用入れ、市が寄附と同額を積み立て	文化ボランティア活動、かすがいどこでもアート・ドアに拠出。 ○寄附80,215円 ○マッチングギフト(市負担)80,215円 ○利子939円 前年度末基金現在高9,050,705円 当年度積立額161,369円 当年度取崩額478,000円	・かすがいどこでもアート・ドアに拠出。 ○寄附105,803円 ○マッチングギフト(市負担)105,803円 ○利子180円 前年度末基金現在高8,734,074円 当年度積立額211,786円 当年度取崩額678,523円	積極的なPRの結果、市民メセナ基金を拠出している2事業への参加者から合計105,803円の寄附があった。	B 積極的なPRの結果、市民から寄附を得ることができたことは、成果と考えている。

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値				
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
文化ボランティアの登録者数	23人	25人	28人	19人	21人	21人	22人	24人

< 参考 >	基準値	実績値				
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
文化財団サポーター（フロントスタッフ及びFORUM PRESSレポーター）の登録者数	53人	57人	50人	49人	37人	42人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた B 概ね計画どおりの成果が得られた C 成果が得られた事業が多かった D 成果が得られた事業は少なかった E 成果は得られなかった	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつ収まってきたが、以前のようなボランティア活動は難しい側面もあった。そうした中でも、少しずつ文化ボランティアや文化財団サポーターの活動機会が増え、新たな登録者を迎えることができた点は評価できる。 高齢化が進むなかで、今後市民の文化活動を支える取り組みをどのように広げていくことができるのか、引き続きの検討が求められる。 市民メセナ基金活用事業において、令和4年度も寄附を募るためのPRが継続され、事業の参加者から寄附があった点は評価できる。 今後も、市民メセナ基金について、持続的な運用ができるよう、理解を広める活動の継続が重要である。

施策⑤ 文化が育つ拠点施設の充実

施策ごとの事業の成果

(1) 文化活動の魅力を引き出す施設運営

ア より幅広い利用形態に対応する文化施設運営

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財団】	文化フォーラム春日井 諸室及び市民会館施 設の貸出	・文化フォーラム春日井： 1,215件、71,003人(前年度 比441件増、33,794人増) (内訳:ギャラリー35件 26,321人、視聴覚ホール188 件14,033人、会議室287件 5,360人、文化活動室230件 3,293人、和室40件168人、交 流アトリウム435件16,240人、 その他5,588人) ・市民会館:142件38,634人 (前年度比41件増、17,598 人増)	・文化フォーラム春日井： 1,568件、151,625人(前年 度比353件増、80,622人増) (内訳:ギャラリー43件 47,038人、視聴覚ホール265 件20,466人、会議室363件 8,366人、文化活動室303件 5,123人、和室102件428人、 交流アトリウム492件22,544 人、スカイフォーラム39,106人、 その他8,554人) ・市民会館:201件75,231人 (前年度比59件増、36,597 人増)	新型コロナウイルス感染 症を含め、利用者の安 心・安全を図るための対 策を取り、施設を利用し ていただくことができた。 両施設とも、利用者アン ケートでの利用満足度は 高く、市民にとって使いや すい施設を提供すること ができた。	B

イ 施設利用者の意見に基づく運営方法の改善

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	文化フォーラム春日井 諸室及び市民会館施 設の貸出	顧客満足度調査(大変満足を +3、大変不満-3と数値化して 平均値を算出) ・文化フォーラム春日井・視聴 覚ホール2.43、ギャラリー 2.21 ・市民会館 2.45 利用者アンケートの裏面に、 施設利用サービスの改善点を 掲載 ①会議室等にフリーWi-Fiサ ービスを開始、②トイレのウォ シュレット化促進、③スカイフ ォーラムリニューアル。クリス マスイルミネーションやプラン ター植替により、利用者に憩 いを提供	顧客満足度調査(大変満足を +3、大変不満-3と数値化して 平均値を算出) ・文化フォーラム春日井・視聴 覚ホール2.41、ギャラリー 2.24 ・市民会館 2.37 交流アトリウムLEDビジョンに 施設利用サービスの改善点を 掲載 ①貸出備品に「液晶プロジェク ター」「ポータブルPAシステ ム」を追加、②視聴覚ホール 「座席図」設置、③「クリスマス・ ワークショップ」を実施。再生可 能エネルギーを使ったクリスマ スツリーを展示④「防犯カメラ システム」更新	両施設とも、利用者アン ケートでの利用満足度は 高く、市民にとって使いや すい施設を提供すること ができた。 改善点を明示すること で、利用者の理解を深め ることができた。	B

(2) 文化施設の整備

ア 東部市民センター施設の活用

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
東部市民センター貸館 【東部市民センター】	ホールや公民館、集会 室施設の貸出	東部市民センター2,946件、 56,566人 内 訳：集 会 室 1,483 件 29,743人(前年度比389件 増、13,402人増)、公民館 1,337件15,279人(前年度 比296件増、3,824人増)、ホ ール126件11,544人(前年 度比35件増、2,891人増)	東部市民センター3,904件、 74,649人 内 訳：集 会 室 2,001 件 33,292人(前年度比518件 増、3,549人増)、公民館 1,689件19,102人(前年度 比352件増、3,823人増)、ホ ール214件22,255人(前年 度比88件増、10,711人増)	新型コロナウイルス感染 症の影響が一部残ってい たが、地域住民の日常生 活に寄り添った、東部地 区の拠点の生涯学習施 設として、地域住民に活 動の場を提供することが できた。	B

イ 安全、快適に利用できる文化施設の整備、管理

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	文化フォーラム春日井 及び市民会館の改 修・修繕等を実施	・文化フォーラム春日井:スカイ フォーラム改修工事、冷温水発 生機更新工事、冷却水ポンプ ほか更新工事ほか ・市民会館:排風機改修工事、 外壁改修工事ほか	・文化フォーラム春日井:井水 ろ過装置その他改修工事、監 視カメラ改修工事、非常放送機 器改修その他工事、視聴覚ホ ールホワイエ防火シャッター他 修繕ほか ・市民会館:客席後部給気ダン パ取替修繕ほか	経年劣化に対応するた め、修繕・改修工事を実 施し、施設利用者の安全 性・快適性を高めること ができた。	B
道風記念館 【道風記念館】	道風記念館の修繕等 を実施	・消火設備修繕 ・監視カメラ修繕 ・展示室フロアコンセント修繕 ・展示室天井修繕	・空調設備機器修繕 ・展示ホールコンセント修繕 ・機械警備システム修繕 ・監視カメラ修繕	経年劣化に対応するた め、修繕を実施し、施設利 用者の安全性・快適性を 高めることができた。	B
東部市民センター貸館 【東部市民センター】	ホール及び集会室の 改修・修繕等を実施	ホールの音響設備取替、音響 反射板改修ほか ホールにスタインウェイピアノ D-274を導入	・Wi-Fi環境整備工事 ・エレベーター改修工事	経年劣化に対応するた め、改修工事を実施し、施 設利用者の安全性・快適 性を高めることができた。	B

ウ 文化財関連施設等の保守、管理

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の保護・調査 【文化財課】	史跡等文化財の地元 保存団体等への清掃 業務委託 指定文化財の修理復 旧・環境整備・防災設 備点検等補助 文化財説明看板の保 守・管理	・二子山古墳始め史跡等清掃 業務委託 9団体 ・密蔵院多宝塔(国重要文化 財)防災施設整備事業補助始 め11件 ・文化財説明看板設置・修繕 4件	・二子山古墳始め史跡等清掃 業務委託 9団体 ・密蔵院建造物6棟防災設備 整備補助始め12件 ・文化財説明看板修繕 2件	地元保存団体や民間業 者に清掃等を委託して史 跡等文化財の適切な管 理・保管状況を維持する ことができた。 有効に補助金が交付さ れ、文化財関連施設等の 保守・管理を適切に実施 することができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値				
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
市の文化施設が充実していると考える人 の割合	28.8%	30.0%	35.0%	2021年度 に測定	2021年度 に測定	2021年度 に測定	30.3%	2026年度 に測定

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	文化フォーラム春日井、市民会館とも、利用者アンケートからみると利用者の満足度は高く、評価できる。
B 概ね計画どおりの成果が得られた	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなってきたなか、市民が安心・安全に施設を利用できる環境を整え、利用者への啓発を継続していく必要がある。
C 成果が得られた事業が多かった	
D 成果が得られた事業は少なかった	文化財は、概ね適切な管理・保管状況が保たれており、評価できる。引き続き継続的な取り組みが必要
E 成果は得られなかった	である。

基本目標2 特色ある「春日井文化」の継承・創造

施策⑥ 特色ある文化の推進

施策ごとの事業の成果

(1)「書のまち春日井」の推進

ア 書の魅力を紹介する文化事業の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)】 《再掲》	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	第73回展10月31日(日)～11月7日(日) 出品数:一般部319点、学生部(高校生以下)5,585点、計5,904点(前年度比167点減)、鑑賞者:5,422人(前年度比486人減)、VR展1,183アクセス(前年度比684アクセス減) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	第74回展10月30日(日)～11月6日(日) 出品数:一般部293点、学生部(高校生以下)5,195点、計5,488点(前年度比416点減)、鑑賞者:5,192人(前年度比230人減)、VR展1,485アクセス(前年度比302アクセス増) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。一昨年度から実施している文化フォーラム春日井・交流アトリウムでの学生条幅の部の展示も大変好評であった。	B 出品数が減少傾向にあるため、新規出品者を呼び込む方策を引き続き検討し、実施していく必要があると考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
新生児向け書家揮毫命名紙入り写真立てプレゼント 【文化・生涯学習課】	春日井市の新生児全員に、市内で活躍する書家が揮毫した命名紙を入れた写真立てを贈呈	送付実績:1,756人 協力書家:8人 (令和3年度新規事業)	送付実績:2,465人 協力書家:11人	普段書になじみの少ない世代を対象に、生活の中で「書のまち春日井」を実感してもらえる機会を提供することができた。 アンケートでも好評を得ることができた。	B
伝統文化体験・継承事業 わ〜く書っぷスペシャルDAY 【文化・生涯学習課】	書や日本画、俳句・川柳などの伝統文化を親子で体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月11日(日)、8メニュー×455人 (協力:美術協会)	・9月4・11(日)・19(月・祝)・25日(日)、8メニュー、239人 (協力:美術協会)	書を始めとする伝統的な文化を親子で体験できる、貴重な機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	年間観覧者数7,479人(前年比2,520人増) 特別展「書の美、書の価値」650人(前年度比147人増) 企画展「書のまち春日井」2,997人(前年度比1,585人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増)、「私の好きな言葉展」3596点 館蔵品展 「書の魅力」172人、「文字の造形」2,230人、「花を愛でる」197人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	特別展「生誕110年記念 比田井南谷～線の芸術～」612人(前年度比38人減) 企画展「松下芝堂」1,301人(前年度比1,696人減) 企画展「おののとうふう～道風が生きた時代～」949人(前年度比149人増) 館蔵品展 「書の魅力」484人、「俳句の書表現」3,235人、「白と黒のコントラスト」538人 年間観覧者数7,517人(前年比38人増)	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風の手臨書作品展 【道風記念館】 《再掲》	三跡(小野道風、藤原 佐理、藤原行成)の手 を課題とし、臨書作品 を全国から公募 開館以来継続して展 覧会を開催	第40回展1月12日(金)~23 日(日) 出品数:一般部/玉泉帖237 点、本阿弥切243点 高校生の部/智証大師諡号勅 書2,441点、秋萩帖154点、合 計3,075点(前年比106点 減)鑑賞者386人(前年比 202人減)作品展会場:道風 記念館 出品資格・出品料:変 更なし 道風の手臨書優秀作品展1月 12日(水)~16日(日)作品展 会場:文化フォーラム春日井	第41回展1月14日(土)~29 日(日) 出品数:一般部/屏風土代 247点、小島切224点 高校生の部/屏風土代2,230 点、継色紙190点、合計2,891 点(前年比184点減) 鑑賞者:339人(前年比47人 減) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	小野道風を始めとした三 跡の和様の書を学び、鑑 賞する機会を提供するこ とで、小野道風の顕彰を 行うことができた。 全国各地から応募があ り、広く「書のまち春日 井」を発信することがで きた。	B
県下児童生徒席上揮毫 大会 【小野道風公遺徳顕彰会 (事務局:小野小学校)】	昭和11年(1936)に 始まった揮毫大会 用紙が2枚だけ配布さ れ、制限時間25分間 で行われる 「用意、ドン」と始まる ため「小野の競書会」 とも呼ばれている	第86回大会 参加者 794人、88校(前年度 比392人増) 参加資格:各校1学年2人まで 全参加作品展示 2月4日(金) 13日(日)、道風記念館 ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、席上揮毫は 取りやめ。表彰式は実施しない こととした。	第87回大会 参加者 782人、90校(前年度 比12人減、2校増) 参加資格:各校1学年2人まで 全参加作品展示 12月20日 (火)~1月9日(月・祝)、道風 記念館	春日井市内だけではなく、愛知県内の多くの学 校から出品があり、小中 学生に作品を制作する機 会を提供するとともに、小 野道風の顕彰を行うこと ができた。	B

イ 書を通じた自治体間交流の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	自治体間交流にあたる展覧会の開催はなかった。	自治体間交流にあたる展覧会の開催はなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響下では、自治体の交流は困難である。	D

ウ 春日井まつり等の市民交流事業での書の魅力の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	参加者8,200人(500団体)、観覧者221,450人 ・「Kasugai ザ 道風」(書道パフォーマンス) ・「道風平安朝行列」(小野道風を中心とした雅な雰囲気 of 行列)などが参加するパレード ・道風くんコーナー(書道体験、道風くんグッズ販売)	外部団体と協働し、参加者・観覧者双方に春日井らしさを感じられる貴重な機会を提供することができた。	B

エ パンフレット等による「書のまち春日井」の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】	「書のまち春日井」PR パンフレットを作成・配布	「書のまち春日井」PRパンフレット(①一般向け、②小学校中学年向け「書のまち春日井と小野道風」、③小学校高学年向け「調べてみよう!小野道風」)を増刷・配布	「書のまち春日井」PRパンフレット(①一般向け、②小学校中学年向け「書のまち春日井と小野道風」、③小学校高学年向け「調べてみよう!小野道風」)を増刷・配布	「書のまち春日井」や「小野道風」について分かりやすくまとめたパンフレットを作成し、小学校の書道科の授業向けに継続して配布することで、「書のまち春日井」や「小野道風」への理解を広げることができた。	B

オ マスコットキャラクターの活用

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】 《再掲》	商標、着ぐるみの貸し出し、グッズの制作・販売等を実施 「ゆるキャラグランプリ」にエントリーし、市内外にPR	・VR道風展に出演 ・商標の貸出(印刷物等への道風くんイラスト使用許可) 64件 ・着ぐるみ貸出(町内会等や一般企業へ無料貸出) 41件 ・道風くんグッズ販売 道風くんバッジセットを新たに作成し、道風記念館や市役所等公共施設、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、市内書店、勝川駅前商店街で販売 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春日井まつりや市民納涼まつりなどへの参加は取り止めた。	・VR道風展に出演 ・商標の貸出(印刷物等への道風くんイラスト使用許可) 66件 ・着ぐるみ貸出(町内会等や一般企業へ無料貸出) 54件 ・道風くんグッズ販売 道風くんタオルハンカチを新たに作成し、道風記念館や市役所等公共施設、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、勝川駅前商店街内商店等で販売 ・春日井まつりで市内保育園児と道風くんが「道風くんのテーマソング」ダンス披露	マスコットキャラクター「道風くん」を活用することで、「書のまち春日井」について分かりやすく幅広い世代にPRすることができた。	B

カ 書を気軽に楽しむ講座、講演会等の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	書の鑑賞の手助けとなり、書への関心を深める講座を開催 特別展等にあわせて講演会やギャラリートークを開催	初心者向け講座「書にふれる、はじめての講座」(全4回)16人(前年度比25人減) 特別展「書之美、書の価値」講演会1回 企画展「書のまち春日井」講演会1回 館蔵品展 「書の魅力」学芸員による展示品解説 2回、「文字の造形」学芸員による展示品解説 4回、「花を愛でる」学芸員による展示品解説 4回 (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止)	「手紙を楽しむ」(全4回)49人、「高野切第一種を書く」(全3回×2回)46人、初心者向け講座「書にふれる、はじめての講座」(全6回)16人(増減なし) 特別展「生誕110周年記念 比田井南谷～線の芸術～」講演会1回 館蔵品展 「書の魅力」学芸員による展示品解説 4回、「俳句の書表現」学芸員による展示品解説 4回、「白と黒のコントラスト」学芸員による展示品解説 4回	書への関心を深める機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
公民館・ふれあいセンター講座 【各公民館、各ふれあいセンター】	公民館、ふれあいセンターで書を学ぶ講座を開催	中央公民館 2講座(全8回)受講者20人、1講座(全7回)受講者16人 鷹来公民館 1講座(全2回)受講者9人 坂下公民館 2講座(全6回)受講者37人、1講座(全4回)受講者13人 東部公民館 1講座(全8回)受講者6人 高蔵寺ふれあいセンター 1講座(全3回)受講者21人 レディヤンかすがい 1講座(全2回)受講者8人 総合福祉センター 1講座(全8回)受講者6人	中央公民館 1講座(全6回)受講者11人 東部公民館 1講座(全8回)受講者15人、1講座(全4回)受講者10人、1講座(全2回)受講者9人 南部ふれあいセンター 1講座(全6回)受講者18人 レディヤンかすがい 1講座(全2回)受講者6人 総合福祉センター 1講座(全4回)受講者14人	地域に身近な施設で書への関心を深める機会を提供することができた。	B

(2) 自分史のまちづくりの推進

ア 自分史の魅力を紹介する文化事業の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	・自分史相談 毎週火曜日 午後、相談無料 ・自分史講座 エッセイ講座 <前期>(全5回)受講者16人、エッセイ講座<後期>(全3回)受講者11人、新聞記事で学ぶ文章講座(全3回)受講者18人 ・公募自分史「かおりのきおく」をテーマに短編の自分史作品募集し、作品集を刊行	・自分史相談 毎週火曜日 午後、相談無料 ・自分史講座 トークイベント3回参加者71人、エッセイ講座(全8回)受講者16人 ・公募自分史「はじめまして」をテーマに短編の自分史作品を募集し、作品集を刊行 ・演劇×自分史 参加者の自分史を紡いだ創作演劇作品をリーディング公演として開催。参加者24人	自分史について気軽に語る・考える場を持つため、トークイベントを開催し、オンラインでも配信するなど、これまで自分史に触れる機会がなかった層にも、機会を提供することができた。	B

イ 自分史の活動を行う団体等の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、市民会館管理 【文化・生涯学習課】 《再掲》	定期的に活動している自分史サークルに対し、活動認定を行い、施設使用料を減免	自分史サークル6団体を自分史活動団体として認定(受付期間前の施設予約、施設の減免利用、印刷機等の無償利用を認めている。)	自分史サークル6団体を自分史活動団体として認定(受付期間前の施設予約、施設の減免利用、印刷機等の無償利用を認めている。)	自分史サークルが継続的に活動できるよう、施設利用の面で活動を支援することができた。	B

ウ 全国からの自分史作品の収集、公募

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	・自分史センターへの作品寄贈 60タイトル ・蔵書8,358タイトル 書籍の貸出 33冊 ・文化情報プラザの書架を充実を更に進めた。 ・第19回掌編自分史全国公募「かおりのきおく」をテーマとした。応募作品 199作品（前年度比3作品減）、優秀作品35点を掲載したを掲載した作品集を刊行	・自分史センターへの作品寄贈 93タイトル ・蔵書8,451タイトル 書籍の貸出 69冊 ・文化情報プラザでのPRを継続して実施 ・第20回掌編自分史全国公募「はじめまして」では、出会いや楽しみ、生き方にまつわる自分史を公募した。 応募作品 165作品（前年度比34作品減）、優秀作品35点を掲載した作品集を刊行	自治体設置の自分史専門図書館としては、全国唯一の施設として、自分史作品の収集を進めることができた。 また、研究目的での利用も多くあった。 その他、自分史作品を公募し、作品集を刊行。より幅広い層の応募を目指して、テーマを設定。北海道から九州まで全国各地から、14歳から93歳と幅広い層から応募があった。	B

エ インターネット等を活用した日本自分史センターの事業展開

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	・自分史センターへの寄贈された作品リストを文化財団ホームページに掲載 ・第19回掌編自分史全国公募「かおりのきおく」をテーマとした。応募作品 199作品（前年度比3作品減）、優秀作品35点を掲載したを掲載した作品集を刊行。前年度に引き続き、メール応募を積極的にPRするなど、より多くの方に気軽に応募してもらうよう工夫した結果、若い世代からの応募が増加した。	・自分史センターへの寄贈された作品リストを文化財団ホームページに掲載 ・第20回掌編自分史全国公募「はじめまして」応募作品165作品、優秀作品35点を掲載した作品集を刊行。インターネット上でのPRを強化するとともに、前年度に引き続き、メール応募を積極的にPRするなど、より多くの方に気軽に応募してもらうよう工夫した結果、幅広い層からの応募があった。 ・自分史トークイベントをオンライン配信した。視聴者数596人	北海道から沖縄まで幅広い地域から応募があり、市民に限らず遠方の居住者にも日本自分史センターの自分史事業の情報を発信し、全国的に認知度の向上を図ることができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値				
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展)への応募作品数	6,458点	6,700点	7,100点	6,321点	5,919点	6,071点	5,904点	5,488点
自分史講座の受講者数	53人	60人	70人	36人	19人	0人(実施できず)	45人	87人

< 参考 >	基準値	実績値				
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展)の鑑賞者数	5,778人	5,017人	4,195人	5,908人	5,422人	5,192人
(VR展のアクセス数)	未実施	未実施	1,037アクセス	1,867アクセス	1,183アクセス	1,485アクセス
自分史事業(自分史センター利用、公募自分史出品、自分史講座、演劇×自分史プロジェクト)への参加者数	631人	1,326人	1,258人	430人	404人	1,091人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	書と自分史は春日井市の文化振興施策の柱となっている取り組みであり、引き続きその魅力を広く発信していくことが望まれる。
B 概ね計画どおりの成果が得られた	書については、新生児向けの事業が実施され、親子を対象とした体験イベントが開催されるなど、ふだん書になじみが薄い層や、親子を対象とした取り組みが実施されており、評価できる。一方、市外から訪れた人々に「書」や「小野道風」について知ってもらう機会を創出するなど、幅広い展開が引き続きの課題である。
C 成果が得られた事業が多かった	
D 成果が得られた事業は少なかった	また、道風記念館では、質の高い展覧会を開催することができたが、観覧者数が伸び悩んでいる事業もあるので、新たな来館者を呼び込む方策を検討する必要がある。
E 成果は得られなかった	自分史事業は、新たにトークイベントを開催するなど、新たな事業展開がされており評価できる。引き続き認知度向上のための取組が望まれる。

施策⑦ 文化財・伝統文化の保存・継承・活用

施策ごとの事業の成果

(1) 文化財の保護・活用

ア 歴史的文化財の調査研究の推進と保護、保存

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の保護・調査 【文化財課】 《再掲》	指定文化財所有者等 に対する各種補助金 の交付、文化財の適 切な管理 遺跡の発掘調査、出 土遺物や民俗資料の 調査・整理	・「密蔵院多宝塔防災施設整備事業」補助始め11件 ・文化財防火デーに合わせ実施する防火訓練は密蔵院の防災施設整備工事施工のため中止、防火巡視は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・大留西島遺跡発掘調査 ・西部第一・第二土地区画整理事業地内試掘調査 ・市内遺跡調査概要報告書刊行 ・民俗資料の再整理	・密蔵院建造物6棟防災設備整備補助始め12件 ・文化財防火デーに合わせ、密蔵院にて防火訓練を行い、市内各所に保存・保管されている指定文化財の防火巡視を実施 ・熊野西田面遺跡・柏井遺跡ほか発掘調査 ・西部第二土地区画整理事業地内試掘調査 ・市内遺跡調査概要報告書刊行 ・収蔵民俗資料の再整理	指定文化財所有者等と連携し、有効に補助金が交付され、文化財の適切な管理・保管状況を維持することができた。発掘調査や民俗・考古資料の整理を実施し、報告書等を刊行することで文化財の記録・保存を進めることができた。	B

イ 文化財を活用した伝統文化の発信事業の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	・パレードに「道風平安朝行列」、「棒の手」(出川町・小木田・大留下棒の手保存会)、「神楽・流鏝馬装束」(伊多波刀神社道行神楽・伊多波刀神社奉納流鏝馬保存会)、神楽(六軒屋郷土芸能保存会)が参加 ・ステージで神楽(松本・大留下・伊多波刀神社道行・坂下町・気噴南神楽保存会、六軒屋郷土芸能保存会)が演技披露 ・中央公園で「棒の手」(小木田、出川町、大留下保存会、玉野郷土芸能保存会)が演舞披露 ・中央公園に「流鏝馬体験コーナー」(伊多波刀神社奉納流鏝馬保存会)設置	指定文化財を多くの市民に披露することで、普段民俗文化財を目にする機会が少ない市民にも情報発信することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の活用 【文化財課】	市民が文化財に親しむ機会として、内津文化財祭などの啓発イベントを開催	・内津文化財祭 Web開催 ・「春日井古墳散策マップ」増刷 ・「下原古窯跡群」始め11件の市内遺跡・展示室等のVR公開 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ハニワまつりは中止。	・内津文化財祭 会場:内々神社 参加者500人 ・ハニワまつり 会場:ニ子山公園 参加者3,500人 ・「春日井文化財ガイド」改訂 ・「築水池のシデコブシ自生地」始め3件のVR追加公開	コロナ禍で中止していた啓発イベントを再開し、地元住民を始めとする多くの市民に文化財の重要性和文化財保護の必要性を広くPRすることができた。 引き続きデジタルデータを活用した文化財情報の発信も行った。	B

ウ 文化財、民俗資料等に関する展示の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の活用 【文化財課】 《再掲》	市民が文化財に親しむ機会として、企画展示等を実施し、展示内容に合わせた講座等を開催	・中央公民館内 民俗考古展示室 来場者4,217人(前年度比2,562人増) ・「五月人形～端午の節句～」など企画展示を4回開催 ・古代史講座(全3回)、124人 ・親子体験教室 5回開催 参加者93人(前年度比53人増) ・高蔵寺古墳群出土遺物を再整理し、企画展示・パンフレット作成・特別講座(全3回、142人受講)実施	・中央公民館内 民俗考古展示室 来場者3,802人(前年度比415人減) ・「夏の年中行事」など企画展示を5回開催 ・古代史講座(全3回)、198人 ・親子体験教室 7回開催 参加者125人(前年度比32人増) ・大垣戸狐塚古墳出土遺物を再整理し、企画展示・パンフレット作成・特別講座(全3回、169人受講)実施	企画展示に合わせた親子体験教室や講座を開催することで展示に対する理解を深めることができた。	B

エ 文化財ボランティアの活動の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財ボランティアの育成 【文化財課】	貴重な文化財や歴史及び伝統文化を次世代に伝え、文化財保護を啓発する文化財ボランティアを育成	・会員数 42人 ・ステップアップ研修 2回開催 受講者37人 ※第3～5回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・養成講座 全1回(4回連続講座)計10人が受講し、10人が文化財ボランティアの会に加入 ・小学3年生の社会科校外学習対応として、民俗展示室等の説明に従事 ・ボランティア協働事業 ワークショップ「勾玉をつくろう」「しめ飾りをつくろう」を実施	・会員数 34人 ・ステップアップ研修 4回開催 受講者72人 ・養成講座 1回(4回連続講座)計5人が受講し、4人が文化財ボランティアの会に加入 ・小学3年生の社会科校外学習対応として、民俗展示室等の説明、市民向けに内々神社等での文化財ガイドに従事 ・ボランティア協働事業 ワークショップ「勾玉をつくろう」「昔のくらしへタイムスリップ!」「しめ飾りをつくろう」を実施	文化財ボランティアの会員数は減少したが、協働事業として、「しめ飾りをつくろう」など3事業を実施することができた。	B

(2) 子どもたちが伝統文化に親しむ機会の提供

ア 子どもたちが伝統文化に触れ、関心を高める機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
伝統文化体験・継承事業 わ〜く書っぷスペシャル DAY 【文化・生涯学習課】 《再掲》	書や日本画、俳句・川柳などの伝統文化を親子で体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月11日(日)、8メニュー、433人 (協力:美術協会)	・9月4・11(日)・19(月・祝)・25日(日)、8メニュー、239人 (協力:美術協会)	書を始めとする伝統的な文化を親子で体験できる、貴重な機会を提供することができた。	B
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道や和楽器などの伝統文化や工作、書道などを体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月25日(日) オープニングコンサート 86人、11講座×2回172人 (協力:文化協会) ・ワークショップ 8月1日(日)~26日(木) 4講座 95人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夕涼みシネマは中止。	・ワークショップ 7月28日(木)~8月25日(木) 13講座 380人 (協力:文化協会) ・秋の夕暮れシネマ9月23日(金・祝) 102人	子ども達に、貴重な体験機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
伝統文化体験・継承事業 わ〜く書っぷスペシャル DAY 【文化・生涯学習課】 《再掲》	書や日本画、俳句・川 柳などの伝統文化を 親子で体験できるワ ークショップを開催	・スペシャルデイ 7月11日 (日)、8メニュー、433人 (協力:美術協会)	・9月4・11・19・25日 (日)、8メニュー、239人 (協力:美術協会)	書を始めとする伝統的な 文化を親子で体験でき る、貴重な機会を提供す ることができた。	B
かすがい文化フェスティ バル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道や和楽器など の伝統文化や工作、 書道などを体験でき るワークショップを開 催	・スペシャルデイ 7月25日 (日) オープニングコンサート 86人、11講座×2回172人 (協力:文化協会) ・ワークショップ 8月1日(日) ~26日(木) 4講座 95人 ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、夕涼みシネ マは中止。	・ワークショップ 7月28日 (木)~8月25日(木) 13講 座 380人 (協力:文化協会) ・秋の夕暮れシネマ9月23日 (金・祝) 102人	子ども達に、貴重な体験 機会を提供することがで きた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
児童館事業 【子育て子育て総合支援館】	自由に来館し親子で楽しく遊ぶ場所を提供するとともに、各種講座や教室を実施	・来館者44,750人(乳幼児21,592人、小中高生3,639人、大人19,519人) ・遊びつなごう伝承遊び(将棋教室)1回、参加者6人(小学生対象)	・来館者36,139人(乳幼児16,871人、小中高生3,885人、大人15,383人) ・伝承遊び(将棋教室)2回、参加者14人(小学生対象) ※リニューアルに向けた改修工事のため、9月中旬から2月末まで自由来館を休止。	伝統的な文化(将棋)を子どもたちが体験できる機会を提供することができた。	B
子育て支援、子育て支援事業 【ミニゆうえんジョイ♪(交通児童遊園リニューアル工事による代替施設)】	子ども同士や親同士の仲間作りのための出会いの場を提供するため、様々な事業を実施	・子育て支援事業 将棋教室4回、小学生0人 キッズ大会・教室 陶芸教室、和太鼓体験教室 ほか14回、小学生延べ129人 ・子育て支援事業 わらべうたベビーマッサージ7回 参加者74人 (乳幼児37人、保護者37人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、和太鼓体験教室ほか4回は中止または延期。子育て支援事業のうち、わらべうたベビーマッサージ1回中止。	・子育て支援事業 子育て広場 こいのぼりをつくろう1回 参加者31人(乳幼児16人、保護者15人)、豆まき1回 参加者34人(乳幼児17人、保護者17人)、ひなまつり1回 参加者28人(乳幼児19人、保護者17人)ほか ※交通児童遊園はリニューアル工事のため休園中。代替施設のミニゆうえんジョイ♪にて各種事業を実施。	乳幼児とその保護者を対象に、節分やひなまつりなど伝統的な年中行事に触れる機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
郷土芸能保存 【文化財課】	郷土芸能の保存団体 と児童が交流できる 環境整備	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、郷土芸能出 前講座は中止。	・郷土芸能出前講座 神領小学校4年生82人と大留 下棒の手保存会が参加	郷土芸能出前講座の実 施をきっかけに児童が地 域の郷土芸能を知ること ができた。 また、保存団体との協力 体制を強化することがで きた。	B

イ 子どもたちが行う伝統芸能等の発表の場の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】 《再掲》	市庁舎周辺で、小野 道風に因んだ書道パ フォーマンスなど春日 井の特色ある催しを 実施	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、中止。	・パレードに「道風平安朝行 列」、「棒の手」(出川町・小木 田・大留下棒の手保存会)、「神 楽・流鏝馬装束」(伊多波刀神 社道行神楽・伊多波刀神社奉納 流鏝馬保存会)、神楽(六軒屋 郷土芸能保存会)が参加 ・ステージで神楽(松本・大留 下・伊多波刀神社道行・坂下町・ 気噴南神楽保存会、六軒屋郷土 芸能保存会)が演技披露 ・中央公園で「棒の手」(小木 田、出川町、大留下保存会、玉野 郷土芸能保存会)が演舞披露 ・中央公園に「流鏝馬体験コー ナー」(伊多波刀神社奉納流鏝 馬保存会)設置	指定文化財や郷土の芸 能の発表に、小中学生等 が参加し、多くの市民に 披露する機会を提供する ことができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値				
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
民俗考古展示室の観覧者数	7,130人	7,500人	8,000人	6,157人	5,543人	1,655人	4,217人	3,802人

< 参考 >	基準値		実績値			
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
講座等（親子体験教室、古代史講座、特別講座）への参加者数	672人	713人	696人	336人	359人	492人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた B 概ね計画どおりの成果が得られた C 成果が得られた事業が多かった D 成果が得られた事業は少なかった E 成果は得られなかった	新型コロナウイルス感染症の影響があったと思われるが、民俗芸能や伝統文化の保存・継承については、若い世代を担い手として民俗芸能や伝統芸能を保存・継承していく取り組みがなされている点は、評価できる。 文化財を適切に保存・管理し、後世に継承していくため、調査が継続的に行われていることは評価できる。今後も、調査の成果を広く市民に公開し、理解を広めるためにはどういった手法が適切か、検討していく必要がある。

基本目標3 文化を通じた連携のまちづくり

施策⑧ 分野を超えた連携の推進

施策ごとの事業の成果

(1) 文化芸術と他の分野との連携

ア 地元大学と市、文化財団との連携の強化

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】 《再掲》	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	2021春日井市民第九演奏会 12月5日(日) 出演者439人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団68人、合唱団86人、合唱指導者2人)(一昨年度比147人減)、入場者278人(一昨年度比561人減)	2022春日井市民第九演奏会 12月4日(日) 出演者670人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団66人、合唱団108人、合唱指導者2人)(前年度比20人増)、入場者489人(前年度比211人増)	実行委員会事務局(中部大学)、市及び文化財団、市民(合唱団・交響楽団)の三者で協議・調整し、演奏会を開催することができた。	B

イ 商工会議所、商店街等と市、文化財団との連携の強化

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】 《再掲》	商標、着ぐるみの貸し出し、グッズの制作・販売等を実施 ゆるキャラグランプリにエントリーし、市内外にPR	・商標の貸出(商品への道風くんイラスト無料使用許可):市内企業の名刺等に使用 ・着ぐるみの貸出(福祉施設や一般企業へ無料貸出) ・道風くんグッズ 公共施設のほか、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、市内書道用品店等で委託販売	・商標の貸出(商品への道風くんイラスト無料使用許可):市内企業の名刺等に使用 ・着ぐるみの貸出(福祉施設や一般企業へ無料貸出) ・道風くんグッズ 公共施設のほか、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、市内書道用品店等で委託販売	商工会議所や民間企業にもマスコットキャラクター「道風くん」を幅広く活用してもらうことができた。	B
友の会事業 【かすがい市民文化財団】	自主事業のチケット先行発売・割引購入が可能な有料会員制度。市内の様々な店舗が提携ショップとなっており、会員サービスを実施	友の会会員(有料)527人 提携ショップ49店舗	友の会会員(有料)731人 提携ショップ48店舗	市内商店等と提携し、友の会会員に各種サービスを提供することができた。	B

ウ 企業・団体等による子どもの芸術鑑賞支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	年齢や性別、社会的 状況等に関わらず誰 もが芸術を鑑賞でき る機会を提供	東部市民センターで開催した 公演で地元企業の協賛によ り、小学生以上の親子50組 100人を招待	東部市民センターで開催した 公演で地元企業の協賛によ り、小学生以上の親子50組 100人を招待	地元企業の協賛により、 小学生とその保護者に芸 術鑑賞の機会を提供する ことができた。	B

(2) 幅広い分野での芸術文化の活用の促進

ア 福祉施設、病院等での文化事業の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽分野について、令和2年度より市より移管を受けた。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) ＜内訳＞ 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト17組38名、実施回数30回(前年度比7回増) ＜内訳＞ 音楽(①ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、②サクソフォン・ヴァイオリン・打楽器・ピアノ3回、③ユーフォニアム・打楽器・ピアノ3回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ2回、⑤サクソフォン・打楽器1回、⑥フルート・オーボエ・ピアノ3回、⑦ピアノ・ヴァイオリン2回、⑧三味線2回、⑨弦楽3重奏1回、⑩ヴァイオリン・チェロ1回、⑪ギター4回、⑫サクソフォン・打楽器・ピアノ1回)、⑬日本舞踊4回、⑭落語2回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができ、参加者数も前年度の2,578人から4,358人へと大きく増やすことができた。	B 地域団体でのアート・ドアでは、一部実施団体に所属しない地域住民にも参加を促したり、複数の地域団体が連携して実施する例もあり、地域の交流の輪を広げることができた。

イ 文化芸術による地域の絆づくりの推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、 実施回数23回(前年度比12回増)	派遣アーティスト17組38名、 実施回数30回(前年度比7回増)	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。	B
文化財団広報誌「FORUM PRESS」 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	自主文化事業を中心とした芸術文化情報及び施設に関する情報を掲載した情報誌を発行	B5サイズフルカラー 年4回、 各7,000部発行 ・自主文化事業に関する情報 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による「公演レポート」「展覧会レポート」を掲載 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・子どもと楽しむ「KIDS☆PRESS」 ・市民活動紹介「みんなの広場」「わたしのアトリエ」	B5サイズフルカラー 年4回、 各7,000部発行 ・自主文化事業に関する情報 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による「公演レポート」「展覧会レポート」を掲載 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・子どもと楽しむ「KIDS☆PRESS」 ・聴き書き自分史“もの”語り ・市民活動紹介「みんなの広場」「わたしのアトリエ」	新型コロナウイルス感染症の影響下で、施設や催事での紙媒体の配布が難しかったが、開催予定の自主事業に関する情報だけでなく、記事を読んで興味がわくような情報発信を行うことができた。 読者アンケートでも大変好評であり、施設や文化財団の事業についてだけでなく、春日井市の魅力をPRすることができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値				
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大学や企業、各種団体等と市、文化財団との連携による事業の参加者数	1,546人	1,600人	1,700人	2420人	2,588人	277人	1,600人	2,018人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた B 概ね計画どおりの成果が得られた C 成果が得られた事業が多かった D 成果が得られた事業は少なかった E 成果は得られなかった	新型コロナウイルス感染症の影響があったと思われるが、地元大学や福祉施設、教育機関との連携では、市民第九演奏会や人形劇フェスティバルなどの事業が実施された点は評価できる。 引き続き、他分野と協力・協働し、文化芸術が生み出す効果を活かしていく取り組みがより一層望まれる。具体的な方策を検討していく必要がある。

施策⑨ 文化による地域の活性化

施策ごとの事業の成果

(1) 市民の文化交流の推進

ア 地域で行う祭り等の文化活動の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
区・町内会等活動支援事業 【市民活動推進課】	区・町内会等の自主的・主体的に行う活動の推進を図るために助成金を交付	・助成金交付:251団体、 79,281世帯(前年度比 1,230世帯減) 町内会加入率 57.1%(前年度比1.4%減)	・助成金交付:254団体、 78,368世帯(前年度比3団体 増、913世帯減) 町内会加入率 56.2%(前年度比0.9ポイント減)	継続して区・町内会等の事業活動に対し、支援を行うことができたが、新型コロナウイルス感染症の影響下で、計画通りの活動ができない団体もあった。	B
郷土芸能保存 【文化財課】 《再掲》	郷土芸能の保存団体の活動を支援する補助金の交付、他機関の助成情報の提供	・郷土芸能保存団体会員数 1,156人(前年度比41人減) ・補助交付 17団体 保存伝承事業14件、用具修理・購入補助6件	・郷土芸能保存団体会員数 1,071人(前年度比85人減) ・補助交付 24団体 保存伝承事業23件、用具修理・購入補助3件	郷土芸能保存伝承のための活動や用具の修理・購入に補助を行うなど保存団体の活動を支援することができたが、新型コロナウイルス感染症の影響下で、計画通りの活動ができない団体もあった。	B

イ 地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽分野について、令和2年度より市より移管を受けた。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) ＜内訳＞ 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト17組38名、実施回数30回(前年度比7回増) ＜内訳＞ 音楽(①ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、②サクソフォン・ヴァイオリン・打楽器・ピアノ3回、③ユーフォニアム・打楽器・ピアノ3回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ2回、⑤サクソフォン・打楽器1回、⑥フルート・オーボエ・ピアノ3回、⑦ピアノ・ヴァイオリン2回、⑧三味線2回、⑨弦楽3重奏1回、⑩ヴァイオリン・チェロ1回、⑪ギター4回、⑫サクソフォン・打楽器・ピアノ1回)、⑬日本舞踊4回、⑭落語2回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができ、参加者数も前年度の2,578人から4,358人へと大きく増やすことができた。	B 地域団体でのアート・ドアでは、一部実施団体に所属しない地域住民にも参加を促したり、複数の地域団体が連携して実施する例もあり、地域の交流の輪を広げることができた。

ウ 生涯学習活動団体、外国人住民を含む市民団体等の交流の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
生涯学習情報発信 【文化・生涯学習課】	公民館・ふれあいセンター等で定期的に活動する団体を認定し、生涯学習活動を支援	・生涯学習活動団体登録数 659団体、12,047人(前年度比24団体減、1,217人減) (施設使用料の減免) ・生涯学習情報サイト 生涯学習活動団体等の情報を集約し、インターネット上で発信	・生涯学習活動団体登録数 630団体、11,566人(前年度比29団体減、481人減) (施設使用料の減免) ・生涯学習情報サイト 生涯学習活動団体等の情報を集約し、インターネット上で発信	市内各所の公共施設で活動する団体を登録団体とし、様々な団体の活動を支援することができた。	B 登録数が減少しており、対応策の検討が必要と考えている。
公民館まつり・ふれあいセンター芸能発表会 【各公民館・各ふれあいセンター】 《再掲》	公民館・ふれあいセンターで活動する同好会の成果発表会を開催	中央公民館 26団体出演・出展、延べ参加者1,672人 南部ふれあいセンター 延べ参加者367人 西部ふれあいセンター 延べ参加者1,358人 ※知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、東部公民館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。	中央・知多合同発表会 15団体、延べ参加者 178名 中央公民館 12団体出展、延べ参加者144人 知多公民館 11団体出展、延べ参加者128人 鷹来公民館 14団体出演・出展、延べ参加者113人 坂下公民館 17団体出演・出展、延べ参加者210人 東部公民館 11団体出演・出展、延べ参加者141人 西部ふれあいセンター 延べ参加者263人	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。 中央公民館と知多公民館は合同による芸能発表会を開催することができ、市民の交流を促すことができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民との協働促進 【市民活動支援センター】	ささえ愛センター市民 交流会議を開催 ささえ愛センターまつ りを開催	・ささえ愛センター市民交流会 議役員会 10回 登録団体 205団体(前年度比回数変化 なし、6団体増) ・ささえ愛センターまつり 4月 16～18日 主催 ささえ愛セン ター市民交流会議・春日井市 ・市民活動展示会(市役所、東 部市民センター)	・ささえ愛センター市民交流会 議役員会 12回 登録団体 206団体(前年度比2回増、1 団体増) ・ささえ愛センターまつり 4月 17日 主催 ささえ愛センター 市民交流会議・春日井市 ・春日井まつり 多文化共生イ ベント、スタンプラリーポイント ・市民活動展示会(市役所、東 部市民センター)	ささえ愛センター市民交流 会議と協働で、ささえ愛セ ンターまつりと市民活動展 示会を開催することがで きた。 また、春日井まつりで多 文化共生イベント等を開 催することができた。	B ささえ愛センター市民 交流会議と協働し、各 種事業も実施できた。

エ 市民団体への小中学校施設の開放

事業名	概要	令和3年度の実績	令和4年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学校施設開放 【文化・生涯学習課】	地域住民の生涯学習 活動やコミュニティ活 動の推進を図るため 余裕教室を地域の団 体に開放	・学校施設開放 小学校3校、5団体が利用 ・松原学習センター 9団体、1,776人が利用(前年 度比1団体増、1,024人増)	・学校施設開放 小学校3校、4団体が利用 ・松原学習センター 6団体、2,406人が利用(前年 度比630人増)	余裕教室を活用し、地域 住民に開放し、生涯学習 活動やコミュニティ活動 を推進する機会を提供す ることができた。	B
学校体育施設開放 【スポーツ課】	平日や土日の夜間に、 小中学校の体育館等 を一般に開放	※スポーツ目的での利用を含む 小中学校:体育館52校、利用 者56,662人 中学校:武道場15校、利用者 22,252人	※スポーツ目的での利用を含む 小中学校:体育館52校、利用 者274,952人 中学校:武道場15校、利用者 24,284人	学校の利用のない時間 帯において体育館等を開 放し、地域住民の活動を 推進することができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値				
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人	13,794人	13,673人	13,264人	12,047人	11,566人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた B 概ね計画どおりの成果が得られた C 成果が得られた事業が多かった D 成果が得られた事業は少なかった E 成果は得られなかった	高齢化による後継者不足が懸念される郷土芸能等の保存については、社会的な課題も大きいですが、引き続き、こういった対策が可能なか検討していく必要がある。 また、生涯学習活動団体についても、高齢化により会員数が減少したり、新型コロナウイルス感染症の影響で活動自粛していた団体のうち、以前のような活動ができていない団体もある。そういった状況で、今後どのような支援が有効なのか、引き続き検討していくことが望まれる。

(2) プラン全体(計画期間5年目)の評価

令和4年度は、まだ新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、以前のような事業展開や文化活動の復活への動きが見られた。市や文化財団などでは、感染症対策を含めて事業計画を策定するなどの対策を取っていたため、ほぼ計画どおりに事業を実施することができ、想定程度の成果を上げることができた。しかし、他分野との連携が必要な事業などでは、以前のような展開は難しいものもあった。

また、施策③「知りたい人に届く文化情報の発信」については、人々の価値観の多様化もあり、対応が難しい部分も多いが、引き続き強化を求めたい。

その他、施策④「市民による文化活動支援の推進」、施策⑥「特色ある文化の推進」、施策⑦「文化財・伝統文化の保存・継承・活用」、施策⑧「分野を超えた連携の推進」、施策⑨「文化による地域の活性化」は、担い手の高齢化や、感染症対策による活動自粛の結果、以前のような活動を再開できていない団体もあるなど、今後の展望に不透明な点が残っている。そういった状況でどういった対策が適切なのか、長期的な視野で検討を重ねていくことが引き続き望まれる。

第2次かすがい市民文化振興プランは、令和4年度に改定されたため、改定前のプランでの点検・評価は今回が最終年となる。改定後のプランでは、基本目標や施策の展開が見直されているが、令和4年度の進捗状況で課題となっている事項については、引き続き対応策の検討が求められていることを前提に事業の展開を求めたい。